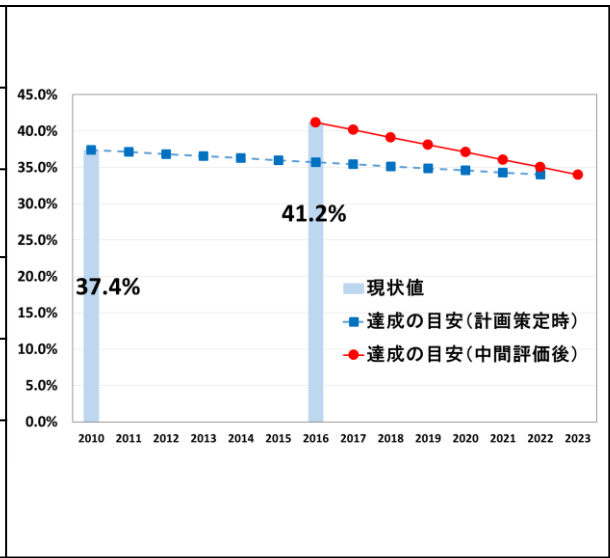


## 健康あおもり21(第2次)指標一覧

担当部会	領域	分野	目標項目	指標	中間評価結果	指標の見直し	頁
<b>栄養・運動部会</b>							
1	生活習慣の改善	(1)栄養・食生活	①適正体重を維持している者の増加(肥満、やせの減少)	20歳～60歳代男性の肥満者の割合	D		1
				青森県総合健診センター健診受診者の肥満者の割合(男性)			2
				40歳～60歳代女性の肥満者の割合	D		3
				青森県総合健診センター健診受診者の肥満者の割合(女性)			4
				20歳代女性のやせの者の割合	E		5
			②肥満傾向にある子どもの割合の減少	小学5年生男子の中等度・高度肥満傾向児の割合	B	○	6
				小学5年生女子の中等度・高度肥満傾向児の割合	C	○	7
			③低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制	低栄養傾向の高齢者の割合	A		8
			④食塩摂取量の減少(成人)	成人の食塩摂取量	C		9
			⑤野菜と果物の摂取量の増加	野菜摂取量の平均値(20歳以上)	B		10
				野菜摂取量の平均値(7～14歳)	A	○	11
				果物摂取量100g未満の者の割合	D		12
			⑥利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加	管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合	A	○	13
	(2)身体活動・運動	①日常生活における歩数の増加	20～64歳男性の1日当たりの平均歩行数	B		14	
			20～64歳女性の1日当たりの平均歩行数	D		15	
			65歳以上男性の1日当たりの平均歩行数	D		16	
			65歳以上女性の1日当たりの平均歩行数	B		17	
		②運動習慣者の割合の増加	20～64歳男性の運動習慣者の割合	D		18	
			20～64歳女性の運動習慣者の割合	D		19	
			20～64歳総数の運動習慣者の割合	D		20	
			65歳以上男性の運動習慣者の割合	B		21	
			65歳以上女性の運動習慣者の割合	D		22	
			65歳以上総数の運動習慣者の割合	B		23	
		③住民が運動しやすいまちづくり・環境整備について協議する市町村の増加	住民が運動しやすいまちづくり・環境整備について協議する市町村数	B		24	
<b>こころ・アルコール部会</b>							
1	生活習慣の改善	(3)飲酒	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している男性の割合	D		25
				生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している女性の割合	D		26
			②未成年者の飲酒をなくす	中学3年生男子の飲酒の割合	B		27
				中学3年生女子の飲酒の割合	B		28
				高校3年生男子の飲酒の割合	B		29
				高校3年生女子の飲酒の割合	B		30
			③妊娠中の飲酒をなくす	妊婦の飲酒の割合	B		31
<b>糖尿病・循環器病・がん・たばこ部会</b>							
1	生活習慣の改善	(4)喫煙	①成人の喫煙率の減少	成人男性の喫煙率	B		32
				青森県総合健診センター健診受診者の喫煙率(男性)			33
				成人女性の喫煙率	D		34
				青森県総合健診センター健診受診者の喫煙率(女性)			35
			②未成年者の喫煙をなくす	中学1年生男子の喫煙の割合	B		36
				中学1年生女子の喫煙の割合	C		37
				高校3年生男子の喫煙の割合	B		38
				高校3年生女子の喫煙の割合	B		39
			③妊娠中の喫煙をなくす	妊婦の喫煙の割合	B		40
			④受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している県庁舎の割合の増加	B		41
				受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している市町村庁舎の割合の増加	B		42
				受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している文化施設の割合の増加	B		43
				受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している教育・保育施設の割合の増加	B		44
				受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している医療機関の割合の増加	B		45
受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している事業所(50人以上)の割合の増加	B			46			
受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している事業所(50人未満)の割合の増加	B			47			

担当部会	領域	分野	目標項目	指標	中間評価結果	指標の見直し	頁
<b>歯科部会</b>							
1	生活習慣の改善	(5)歯・口腔の健康	①3歳児でう蝕がない者の割合の増加	3歳児でう蝕がない者の割合	B		48
			②3歳児で過去1年間でフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合の増加	3歳児で過去1年間でフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合	B	○	49
			③12歳児で一人平均う歯数の減少	12歳児の一人平均う歯数	B		50
			④40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合	D		51
			⑤40歳で喪失歯のない者の割合の増加	40歳で喪失歯のない者の割合	A	○	52
			⑥60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合	A	○	53
			⑦80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合	B		54
			⑧過去1年間に歯科検診を受診した者の増加	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合(20歳以上)	B		55
<b>糖尿病・循環器病・がん・たばこ部会</b>							
2	生活習慣病の発症予防と重症化予防	(1)がん	①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少	75歳未満のがんの年齢調整死亡率(人口10万対)	B	○	56
			②がん検診の受診率の向上	男性の胃がん検診の受診率	B		57
				女性の胃がん検診の受診率	B		58
				男性の肺がん検診の受診率	A		59
				女性の肺がん検診の受診率	B		60
				男性の大腸がん検診の受診率	B		61
				女性の大腸がん検診の受診率	B		62
				20~69歳女性の子宮頸がん検診の受診率	B		63
				女性の乳がん検診の受診率	B		64
			(2)循環器疾患	①脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少	男性の脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)	A	○
		女性の脳血管疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)			A	○	66
		男性の虚血性心疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)			A	○	67
		女性の虚血性心疾患の年齢調整死亡率(人口10万対)			A	○	68
		②高血圧の改善(収縮期血圧の平均値の低下)		男性の収縮期血圧の平均値	A		69
				女性の収縮期血圧の平均値	A		70
		③脂質異常症の減少	男性のLDLコレステロールが160mg/dl以上の者の割合	B		71	
			女性のLDLコレステロールが160mg/dl以上の者の割合	B			
			【参考値】男性のHDLコレステロール40mg/dl未満の者の割合				
			【参考値】女性のHDLコレステロール40mg/dl未満の者の割合				
		④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合	D	○	73	
⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上	特定健康診査の実施率		B		74		
	特定保健指導の実施率		B		75		
(3)糖尿病	①合併症の減少	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数	D		76		
		②メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少【再掲】	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合【再掲】	D	○	77	
	③特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上【再掲】	特定健康診査の実施率【再掲】	B		78		
		特定保健指導の実施率【再掲】	B		79		
(4)COPD(慢性閉塞性肺疾患)	①COPDの認知度の向上	COPDの認知度	B		80		
<b>こころ・アルコール部会</b>							
3	こころの健康	(1)こころの健康づくり	①自殺者の減少	自殺死亡率(人口10万対)	A	○	81
		(2)休養(睡眠)	①睡眠による休養が十分にとれていない者の割合の減少	睡眠による休養が十分にとれていない者の割合	C		82
		(3)認知症	①認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上	認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率	E	○	83

領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(1) 栄養・食生活		
目標項目	① 適正体重を維持している者の割合の増加 (肥満、やせの減少)		
指標	20歳～60歳代男性の肥満者(注1)の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の37.4%から3.8ポイント増加の41.2%であり悪化傾向である。		



指標の見直しの検討  
目標値の34.0%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		37.4%						41.2%						
標本数		171人中 64人						182人中 75人							
達成の目安 (計画策定時)		37.4%	37.1%	36.8%	36.6%	36.3%	36.0%	35.7%	35.4%	35.1%	34.9%	34.6%	34.3%	34.0%	
達成の目安 (中間評価後)								41.2%	40.2%	39.1%	38.1%	37.1%	36.1%	35.0%	34.0%

<参考>

県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の間診票データの集約結果

	2016 (H28)
40～60歳代 男性の肥満者の割合	36.9% (98,842人中36,496人)

(注1) BMI25.0以上を肥満者とする。

青森県総合健診センター健診受診者の肥満者の割合(男性)  
(BMI25.0以上)

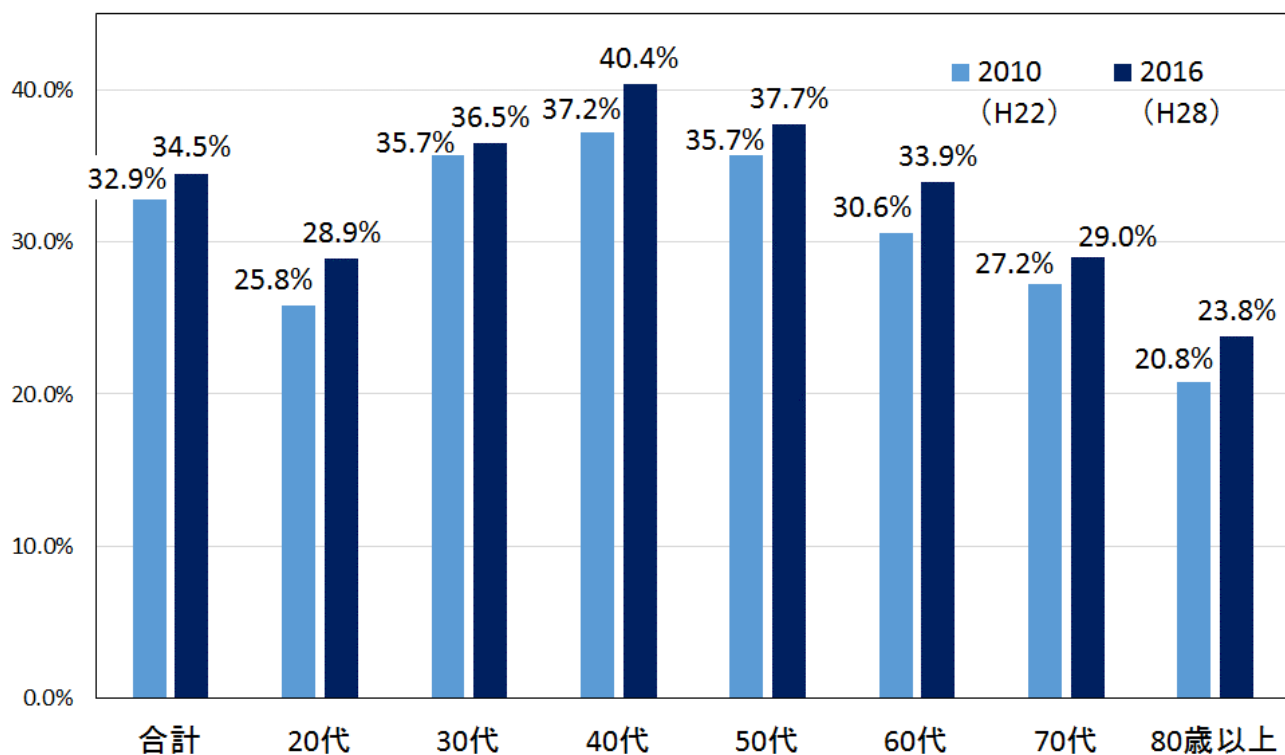
■2010年度(平成22年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	32.9%	25.8%	35.7%	37.2%	35.7%	30.6%	27.2%	20.8%
標本数	61,594人 中 20,247人	5,963人 中 1,538人	10,726人 中 3,832人	11,872人 中 4,421人	13,901人 中 4,966人	10,819人 中 3,310人	6,989人 中 1,904人	1,324人 中 276人

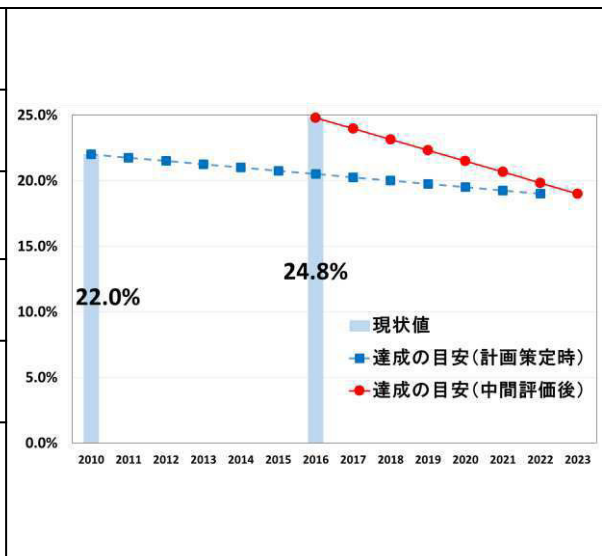
■2016年度(平成28年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	34.5%	28.9%	36.5%	40.4%	37.7%	33.9%	29.0%	23.8%
標本数	65,366人 中 22,578人	6,544人 中 1,888人	8,814人 中 3,216人	11,997人 中 4,844人	12,091人 中 4,555人	14,494人 中 4,910人	8,564人 中 2,484人	2,862人 中 681人

青森県総合健診センター健診受診者肥満者の割合(男性)



領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(1) 栄養・食生活		
目標項目	① 適正体重を維持している者の割合の増加 (肥満、やせの減少)		
指標	40歳～60歳代女性の肥満者(注1)の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の22.0%から2.8ポイント増加の24.8%であり悪化傾向である。		



指標の見直しの検討  
目標値の19.0%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		22.0%						24.8%						
標本数		168人中 37人						149人中 37人							
達成の目安 (計画策定時)		22.0%	21.8%	21.5%	21.3%	21.0%	20.8%	20.5%	20.3%	20.0%	19.8%	19.5%	19.3%	19.0%	
達成の目安 (中間評価後)								24.8%	24.0%	23.1%	22.3%	21.5%	20.7%	19.8%	19.0%

<参考>

県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016 (H28)
40～60歳代 女性の肥満者の割合	24.4% (94,606人中23,118人)

(注1) BMI25.0以上を肥満者とする。

青森県総合健診センター健診受診者の肥満者の割合(女性)  
(BMI25.0以上)

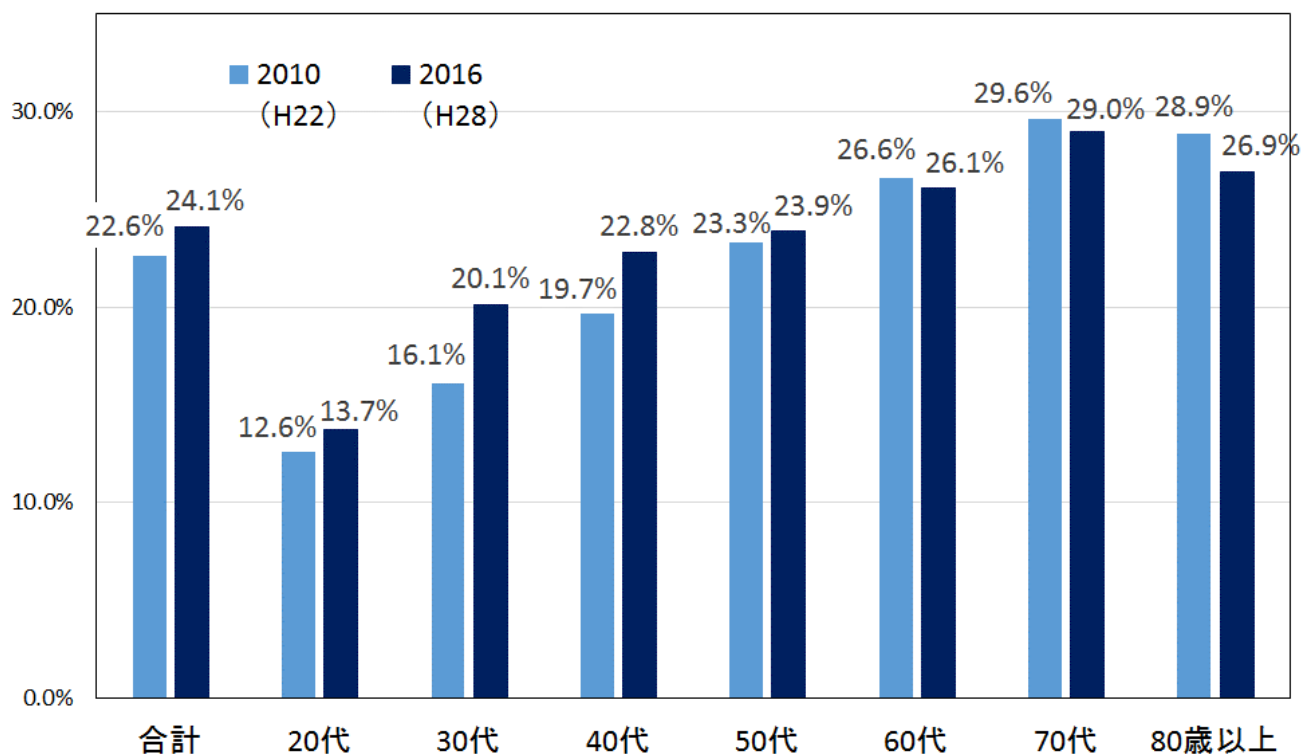
■平成22年度

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	22.6%	12.6%	16.1%	19.7%	23.3%	26.6%	29.6%	28.9%
標本数	59,770人 中 13,526人	5,388人 中 679人	7,551人 中 1,212人	10,083人 中 1,987人	12,888人 中 3,003人	13,648人 中 3,634人	8,875人 中 2,624人	1,337人 中 387人

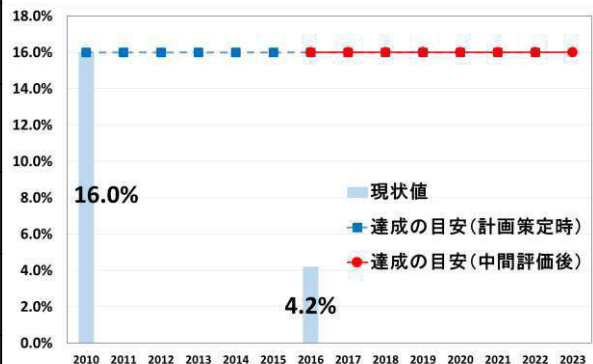
■平成28年度

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
肥満者の割合	24.1%	13.7%	20.1%	22.8%	23.9%	26.1%	29.0%	26.9%
標本数	66,832人 中 16,083人	5,450人 中 749人	7,281人 中 1,460人	10,682人 中 2,438人	11,614人 中 2,779人	17,087人 中 4,455人	11,860人 中 3,434人	2,858人 中 768人

青森県総合健診センター健診受診者肥満者の割合(女性)



領域	1 生活習慣の改善	評価	E
分野	(1) 栄養・食生活		
目標項目	① 適正体重を維持している者の割合の増加 (肥満、やせの減少)		
指標	20歳代女性のやせの者(注2)の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の16.0%から11.8ポイント減少の4.2%であるが、標本数が少なく評価困難である。		



指標の見直しの検討  
 標本数が少なく評価困難であるが、指標及び目標値の16.0%は維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		16.0%						4.2%						
標本数		25人中4人						24人中1人							
達成の目安 (計画策定時)		16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%
達成の目安 (中間評価後)								16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%	16.0%

<参考>

17歳(高校3年生)女子の痩身傾向児(注3)の出現率(出典:県教育委員会学校保健調査)

2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)
1.3%	1.4%	1.7%

青森県総合健診センター健診受診者の20歳代女性のやせの割合(BMI18.5未満)

2010 (H22)	2016 (H28)
18.9% (5,388人中1,018人)	17.5% (5,450人中953人)

(注2) BMI18.5未満をやせの者とする。

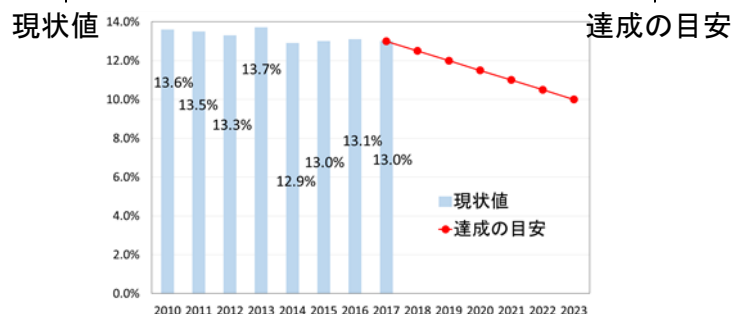
(注3) 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度がマイナス20%以下の者

領域	1 生活習慣の改善	評価	B												
分野	(1) 栄養・食生活														
目標項目	② 肥満傾向にある子どもの割合の減少														
指標	小学5年生の中等度・高度肥満傾向児(注4)の割合(男子)														
データソース	県教育委員会学校保健調査														
分析・評価	現状値が基準値の9.0%から1.0ポイント減少の8.0%であり、目標の(H31年度までに)減少となっており改善傾向である。														
指標の見直しの検討	<p>健康日本21(第二次)の中間評価では、健やか親子21(第2次)に準じて、「10歳(小学5年生)の肥満傾向児(注5)の割合(男女合計値)」を新たな指標とした。これを受けて、「小学5年生の中等度・高度肥満傾向児(注4)の割合(男女別)」の指標は廃止し、今後は健康日本21(第二次)と同様に「10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合(男女合計値)」を新たな指標とし、男女別の値は参考値として経過を確認する。</p> <p>目標値は健康日本21(第二次)の減少率(H29年度8.9%→H34年度7.0% 約21%減)と同程度の減少を目指すこととし、H29年度の値(13.0%)の21%減の値(13.0%×79%≒)の10.0%とする。</p>														
データ	年度	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値	9.0%	9.0%	8.3%	7.9%	8.1%	8.5%	8.1%	8.0%						
	標本数	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆						
	達成の目安(計画策定時)	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%	9.0%				

<参考>

10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合(男女合計値)(現状値出典:県教育委員会学校保健調査)

2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021	2022	2023
13.6%	13.5%	13.3%	13.7%	12.9%	13.0%	13.1%	13.0%	12.5%	12.0%	11.5%	11.0%	10.5%	10.0%



(注4) 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度がプラス30%以上50%未満を中等度肥満傾向児、プラス50%以上を高度肥満傾向児という。

(注5) 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度がプラス20%以上の者を肥満傾向児という。

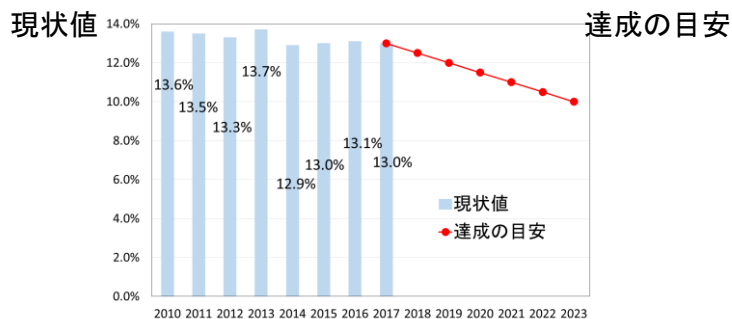


領域	1 生活習慣の改善	評価	C												
分野	(1) 栄養・食生活														
目標項目	② 肥満傾向にある子どもの割合の減少														
指標	小学5年生の中等度・高度肥満傾向児(注4)の割合(女子)														
データソース	県教育委員会学校保健調査														
分析・評価	現状値が基準値の5.8%から0.1ポイント減少の5.7%であり横ばい傾向である。														
指標の見直しの検討	<p>健康日本21(第二次)の中間評価では、健やか親子21(第2次)に準じて、「10歳(小学5年生)の肥満傾向児(注5)の割合(男女合計値)」を新たな指標とした。これを受けて、「小学5年生の中等度・高度肥満傾向児(注4)の割合(男女別)」の指標は廃止し、今後は健康日本21(第二次)と同様に「10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合(男女合計値)」を新たな指標とし、男女別の値は参考値として経過を確認する。</p> <p>目標値は健康日本21(第二次)の減少率(H29年度8.9%→H34年度7.0% 約21%減)と同程度の減少を目指すこととし、H29年度の値(13.0%)の21%減の値(13.0%×79%≒)の10.0%とする。</p>														
データ	年度	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値	5.8%	5.8%	5.6%	6.1%	5.5%	4.8%	5.7%	5.7%						
	標本数	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆						
	達成の目安(計画策定時)	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%	5.8%				

<参考>

10歳(小学5年生)の肥満傾向児の割合(男女合計値)(現状値出典:県教育委員会学校保健調査)

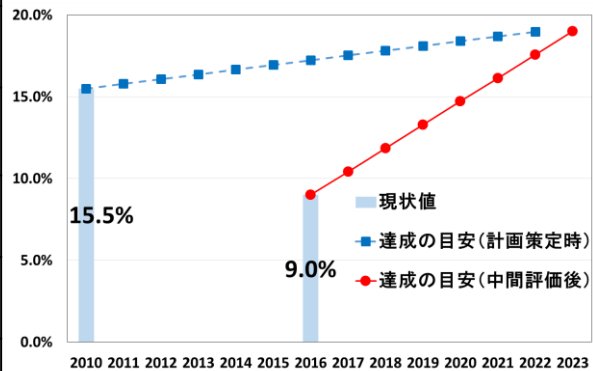
2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021	2022	2023
13.6%	13.5%	13.3%	13.7%	12.9%	13.0%	13.1%	13.0%	12.5%	12.0%	11.5%	11.0%	10.5%	10.0%



(注4) 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度がプラス30%以上50%未満を中等度肥満傾向児、プラス50%以上を高度肥満傾向児という。

(注5) 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度がプラス20%以上の者を肥満傾向児という。

領域	1 生活習慣の改善	評価	A
分野	(1)栄養・食生活		
目標項目	③低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制		
指標	低栄養傾向の高齢者の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の15.5%から6.5ポイント減少の9.0%であり、目標値の19.0%以下に達している。		



指標の見直しの検討

目標値に達しているが、自然増により見込まれる割合を考慮してその値(19.0%)は維持する。

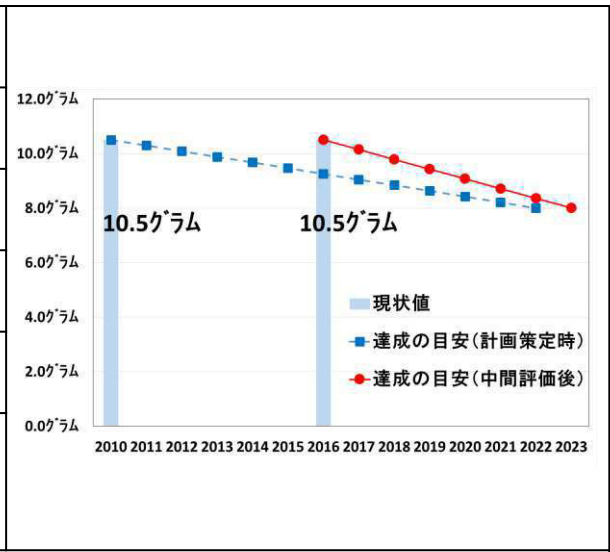
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		15.5%						9.0%						
標本数								222人中 20人							
達成の目安(計画策定時)		15.5%	15.8%	16.1%	16.4%	16.7%	17.0%	17.2%	17.5%	17.8%	18.1%	18.4%	18.7%	19.0%	
達成の目安(中間評価後)								9.0%	10.4%	11.9%	13.3%	14.7%	16.1%	17.6%	19.0%

<参考>

県内医療保険者(協会けんぽ)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016(H28)
65歳以上 BMI20以下の者の割合	12.9% (9,936人中1,277人)

領域	1 生活習慣の改善	評価	C
分野	(1)栄養・食生活		
目標項目	④食塩摂取量の減少(成人)		
指標	成人の食塩摂取量		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の10.5gから変化なしの10.5gであり横ばい傾向である。		

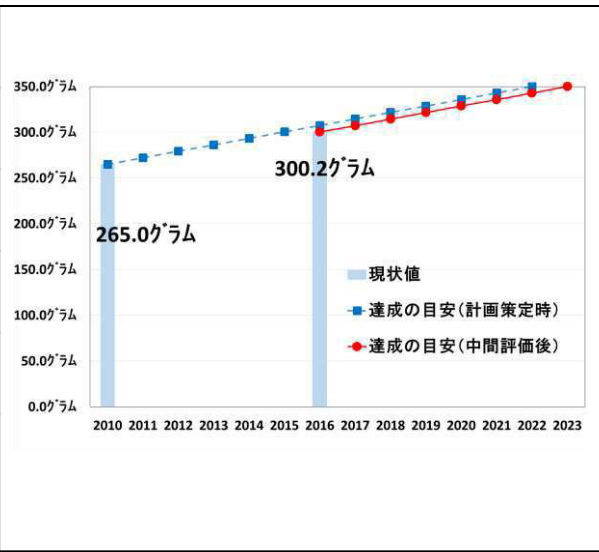


指標の見直しの検討

目標値の8.0gを維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値		10.5g						10.5g							
標本数		n=720						n=726	目標値維持							
達成の目安 (計画策定時)		10.5g	10.3g	10.1g	9.9g	9.7g	9.5g	9.3g	9.0g	8.8g	8.6g	8.4g	8.2g	8.0g		
達成の目安 (中間評価後)								10.5g	10.1g	9.8g	9.4g	9.1g	8.7g	8.4g	8.0g	

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(1)栄養・食生活		
目標項目	⑤野菜と果物の摂取量の増加		
指標	野菜摂取量の平均値(20歳以上)		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の265gから35.2g増加の300.2gであり、目標値の350.0gに達していないものの改善傾向である。		

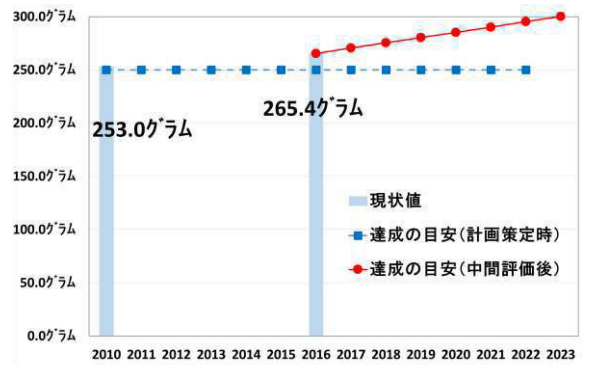


指標の見直しの検討

目標値の350.0gを維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	265.0g						300.2g								
	標本数	n=720						n=726	目標値維持							
	達成の目安 (計画策定時)	265.0g	272.1g	279.2g	286.2g	293.3g	300.4g	307.5g	314.6g	321.7g	328.7g	335.8g	342.9g	350.0g		
	達成の目安 (中間評価後)							300.2g	307.3g	314.4g	321.5g	328.7g	335.8g	342.9g	350.0g	

領域	1 生活習慣の改善	評価	A
分野	(1)栄養・食生活		
目標項目	⑤野菜と果物の摂取量の増加		
指標	野菜摂取量の平均値(7～14歳)		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の253gから12.4g増加の265.4gであり、目標値の250.0gに達している。		



指標の見直しの検討

目標値に達しており、より高い目標設定が適当である。  
 第6次日本人の栄養所要量の活用編(2000年)における野菜摂取量の目安が、9～11歳で290g、12～14歳で300gであること、給食による野菜摂取量が小学生で100g、中学生で120gとされていることを踏まえて、教育的指導の観点から300.0gを新目標値とする。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値	253.0g							265.4g						
標本数	n=68							n=45							
達成の目安(計画策定時)	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	250.0g	
達成の目安(中間評価後)								265.4g	270.3g	275.3g	280.2g	285.2g	290.1g	295.1g	300.0g

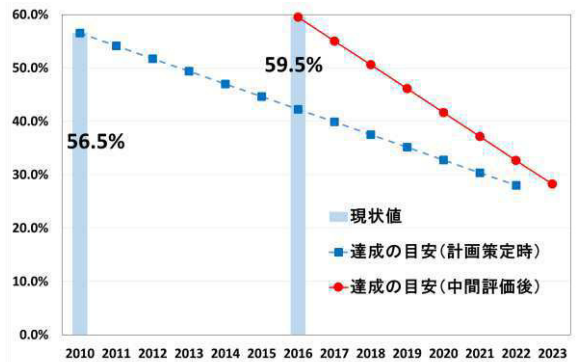
旧目標値 250.0g  
 ↓  
 新目標値 300.0g

<参考>

年代別の野菜の摂取量の目安(g/日)(出典:第6次日本人の栄養所要量の活用編(2000年))

	6～8歳	9～11歳	12～14歳	6～14歳(平均)
緑黄色野菜	90	90	100	93
その他の野菜	150	200	200	183
野菜合計	240	290	300	276

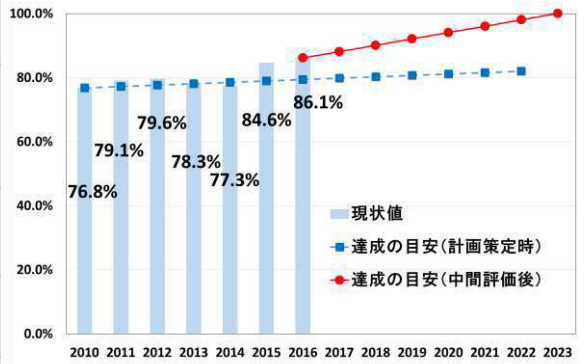
領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(1)栄養・食生活		
目標項目	⑤野菜と果物の摂取量の増加		
指標	果物摂取量100g未満の者の割合(成人)		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の56.5%から2.8ポイント増加の59.3%であり悪化傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の28.0%を維持する。														
-----------	-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	56.5%						59.5%								
	標本数	720人中 407人						726人中 432人	目標値維持							
	達成の目安(計画策定時)	56.5%	54.1%	51.8%	49.4%	47.0%	44.6%	42.3%	39.9%	37.5%	35.1%	32.8%	30.4%	28.0%		
	達成の目安(中間評価後)							59.3%	54.8%	50.4%	45.9%	41.4%	36.9%	32.5%	28.0%	

領域	1 生活習慣の改善	評価	A
分野	(1)栄養・食生活		
目標項目	⑥利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の割合の増加		
指標	管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合		
データソース	衛生行政報告例		
分析・評価	現状値が基準値の76.8%から9.3ポイント増加の86.1%であり、目標値の82.0%に達している。		



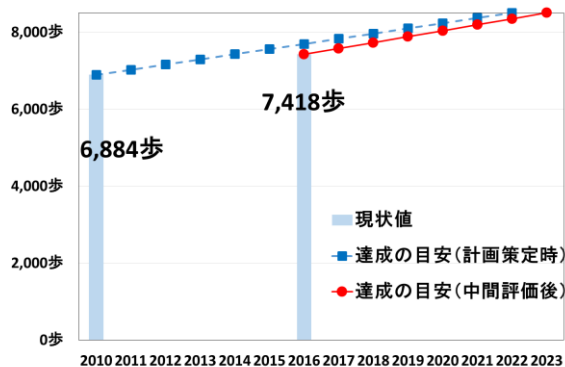
指標の見直しの検討

目標値に達しており、より高い目標設定が適当である。  
 新目標値は、全ての特定給食施設で管理栄養士・栄養士が利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施することを目指し100.0%とする。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		76.8%	79.1%	79.6%	78.3%	77.3%	84.6%	86.1%						
標本数		悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆							
達成の目安 (計画策定時)		76.8%	77.2%	77.7%	78.1%	78.5%	79.0%	79.4%	79.8%	80.2%	80.7%	81.1%	81.5%	82.0%	
達成の目安 (中間評価後)								86.1%	88.1%	90.1%	92.1%	94.0%	96.0%	98.0%	100.0%

旧目標値 82.0%  
 ↓  
 新目標値 100.0%

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(2) 身体活動・運動		
目標項目	①日常生活における歩数の増加		
指標	20～64歳 男性の1日当たりの平均歩行数		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の6,884歩から534歩増加の7,418歩であり、目標値の8,500歩に達していないものの改善傾向である。		

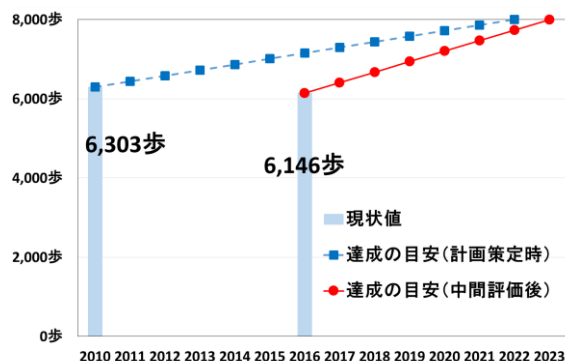


指標の見直しの検討	目標値の8,500歩を維持する。
-----------	------------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	6,884歩						7,418歩								
	標本数	182						199	目標値維持							
	達成の目安(計画策定時)	6,884歩	7,019歩	7,153歩	7,288歩	7,423歩	7,557歩	7,692歩	7,827歩	7,961歩	8,096歩	8,231歩	8,365歩	8,500歩		
	達成の目安(中間評価後)							7,418歩	7,573歩	7,727歩	7,882歩	8,036歩	8,191歩	8,345歩	8,500歩	



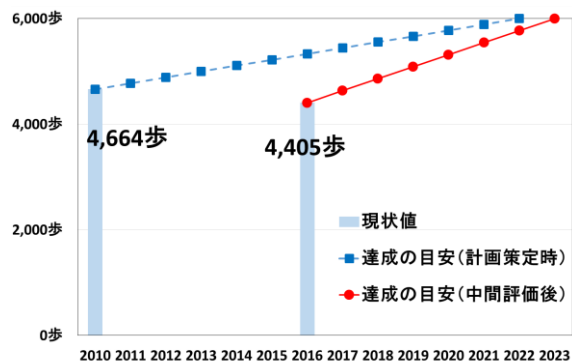
領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(2) 身体活動・運動		
目標項目	①日常生活における歩数の増加		
指標	20～64歳 女性の1日当たりの平均歩行数		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の6,303歩から157歩減少の6,146歩であり、目標値の8,000歩に達しておらず悪化傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の8,000歩を維持する。
-----------	------------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	6,303歩						6,146歩								
	標本数	219						222	目標値維持							
	達成の目安(計画策定時)	6,303歩	6,444歩	6,586歩	6,727歩	6,869歩	7,010歩	7,151歩	7,293歩	7,434歩	7,576歩	7,717歩	7,859歩	8,000歩		
	達成の目安(中間評価後)							6,146歩	6,411歩	6,676歩	6,941歩	7,205歩	7,470歩	7,735歩	8,000歩	

領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(2) 身体活動・運動		
目標項目	①日常生活における歩数の増加		
指標	65歳以上 男性の1日当たり平均歩行数		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の4,664歩から259歩減少の4,405歩であり、目標値の6,000歩に達しておらず悪化傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の6,000歩を維持する。
-----------	------------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	4,664歩						4,405歩								
	標本数	116						116	目標値維持							
	達成の目安(計画策定時)	4,664歩	4,775歩	4,887歩	4,998歩	5,109歩	5,221歩	5,332歩	5,443歩	5,555歩	5,666歩	5,777歩	5,889歩	6,000歩		
	達成の目安(中間評価後)							4,405歩	4,633歩	4,861歩	5,089歩	5,316歩	5,544歩	5,772歩	6,000歩	

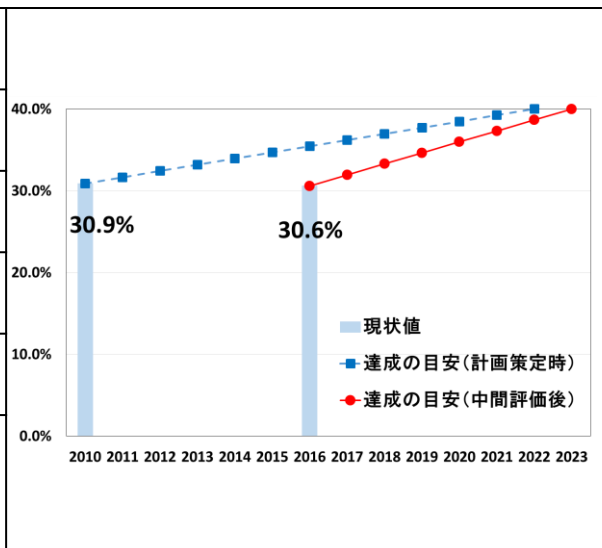
領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(2) 身体活動・運動		
目標項目	①日常生活における歩数の増加		
指標	65歳以上 女性の1日当たり平均歩行数		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の3,557歩から550歩増加の4,107歩であり、目標値の5,000歩に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の5,000歩を維持する。
-----------	------------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	3,557歩						4,107歩								
	標本数	148						138	目標値維持							
	達成の目安(計画策定時)	3,557歩	3,677歩	3,798歩	3,918歩	4,038歩	4,158歩	4,279歩	4,399歩	4,519歩	4,639歩	4,760歩	4,880歩	5,000歩		
	達成の目安(中間評価後)							4,107歩	4,235歩	4,362歩	4,490歩	4,617歩	4,745歩	4,872歩	5,000歩	

領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(2) 身体活動・運動		
目標項目	②運動習慣者(注6)の割合の増加		
指標	20～64歳 男性の運動習慣者の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の30.9%から0.3ポイント減少の30.6%であり、目標値の40.0%に達しておらず悪化傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の40.0%を維持する。
-----------	-----------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		30.9%						30.6%						
標本数								49人中15人		目標値維持					
達成の目安(計画策定時)		30.9%	31.7%	32.4%	33.2%	33.9%	34.7%	35.4%	36.2%	37.0%	37.7%	38.5%	39.2%	40.0%	
達成の目安(中間評価後)								30.6%	31.9%	33.3%	34.6%	36.0%	37.3%	38.7%	40.0%

<参考>

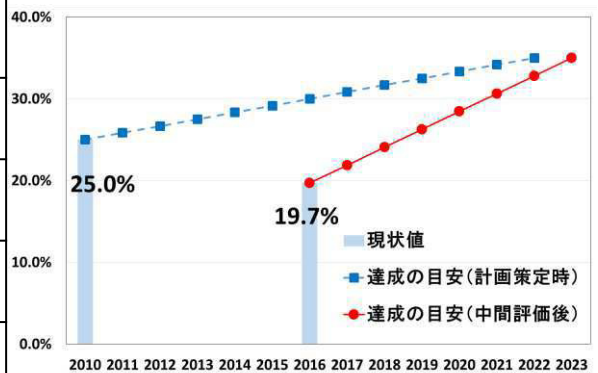
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016(H28)
40～64歳 男性の運動習慣者の割合	23.5% (59,087人中13,875人)

(注6) 運動習慣者とは、継続的に次の3項目全てに該当する運動習慣がある者をいう。

- ・運動の実施頻度として、週2回以上。
- ・運動の持続時間として、30分以上。
- ・運動の継続期間として、1年以上。

領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(2) 身体活動・運動		
目標項目	②運動習慣者(注6)の割合の増加		
指標	20～64歳 女性の運動習慣者の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の25.0%から5.3ポイント減少の19.7%であり、目標値の35.0%に達しておらず悪化傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の35.0%を維持する。
-----------	-----------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		25.0%						19.7%						
標本数								66人中 13人	目標値維持						
達成の目安(計画策定時)		25.0%	25.8%	26.7%	27.5%	28.3%	29.2%	30.0%	30.8%	31.7%	32.5%	33.3%	34.2%	35.0%	
達成の目安(中間評価後)								19.7%	21.9%	24.1%	26.3%	28.4%	30.6%	32.8%	35.0%

<参考>

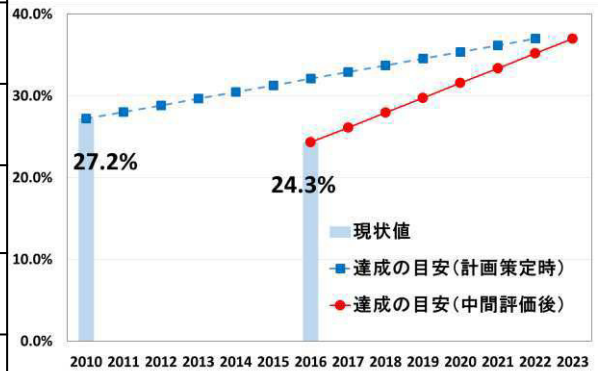
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016(H28)
40～64歳 女性の運動習慣者の割合	29.2% (31,745人中9,270人)

(注6) 運動習慣者とは、継続的に次の3項目全てに該当する運動習慣がある者をいう。

- ・運動の実施頻度として、週2回以上。
- ・運動の持続時間として、30分以上。
- ・運動の継続期間として、1年以上。

領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(2) 身体活動・運動		
目標項目	②運動習慣者(注6)の割合の増加		
指標	20～64歳 総数(男女計)の運動習慣者の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の27.2%から2.9ポイント減少の24.3%であり、目標値の37.0%に達しておらず悪化傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の37.0%を維持する。
-----------	-----------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	27.2%						24.3%								
	標本数							115人中 28人								
	達成の目安 (計画策定時)	27.2%	28.0%	28.8%	29.6%	30.5%	31.3%	32.1%	32.9%	33.7%	34.5%	35.4%	36.2%	37.0%		
	達成の目安 (中間評価後)							24.3%	26.1%	27.9%	29.7%	31.6%	33.4%	35.2%	37.0%	

<参考>

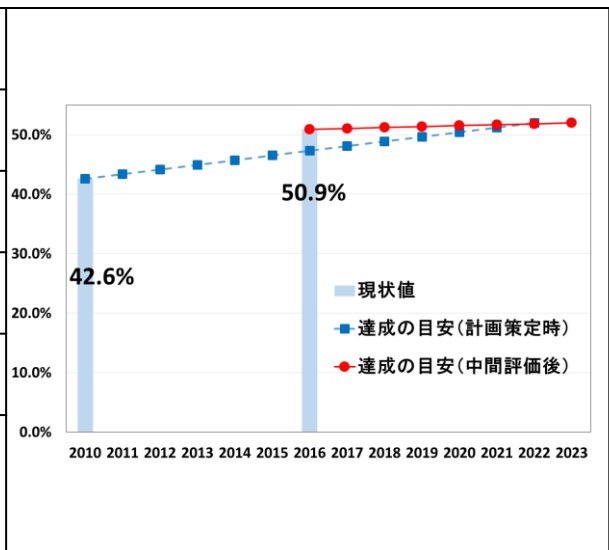
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016(H28)
40～64歳 男女総計の運動習慣者の割合	25.5% (90,832人中23,145人)

(注6) 運動習慣者とは、継続的に次の3項目全てに該当する運動習慣がある者をいう。

- ・運動の実施頻度として、週2回以上。
- ・運動の持続時間として、30分以上。
- ・運動の継続期間として、1年以上。

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(2) 身体活動・運動		
目標項目	②運動習慣者(注6)の割合の増加		
指標	65歳以上 男性の運動習慣者の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の42.6%から8.3ポイント増加の50.9%であり、目標値の52.0%に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討

目標値の52.0%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		42.6%						50.9%						
標本数								57人中 29人	目標値維持						
達成の目安(計画策定時)		42.6%	43.4%	44.2%	44.9%	45.7%	46.5%	47.3%	48.1%	48.9%	49.6%	50.4%	51.2%	52.0%	
達成の目安(中間評価後)								50.9%	51.1%	51.2%	51.4%	51.5%	51.7%	51.8%	52.0%

<参考>

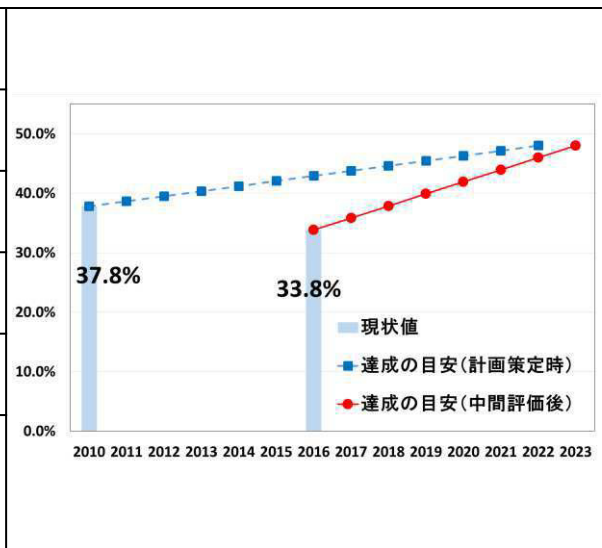
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016(H28)
65～74歳 男性の運動習慣者の割合	41.2% (27,716人中11,411人)

(注6) 運動習慣者とは、継続的に次の3項目全てに該当する運動習慣がある者をいう。

- ・運動の実施頻度として、週2回以上。
- ・運動の持続時間として、30分以上。
- ・運動の継続期間として、1年以上。

領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(2) 身体活動・運動		
目標項目	②運動習慣者(注6)の割合の増加		
指標	65歳以上 女性の運動習慣者の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の37.8%から4.0ポイント減少の33.8%であり、目標値の48.0%に達しておらず悪化傾向である。		



指標の見直しの検討 目標値の48.0%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		37.8%						33.8%						
標本数								74人中 25人	目標値維持						
達成の目安(計画策定時)		37.8%	38.7%	39.5%	40.4%	41.2%	42.1%	42.9%	43.8%	44.6%	45.5%	46.3%	47.2%	48.0%	
達成の目安(中間評価後)								33.8%	35.8%	37.9%	39.9%	41.9%	43.9%	46.0%	48.0%

<参考>

県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

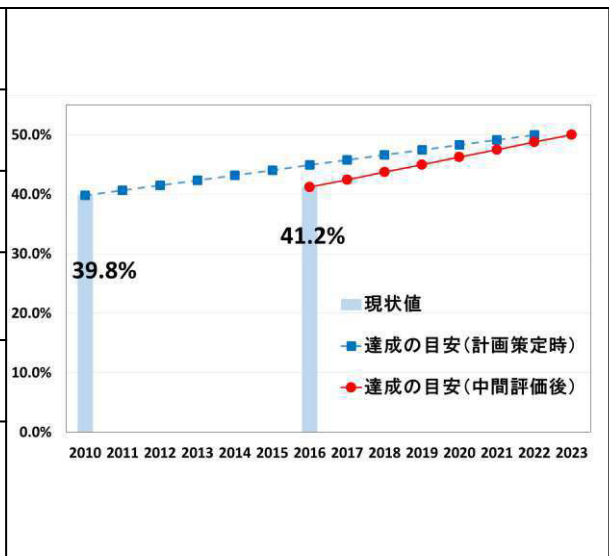
	2016(H28)
65～74歳 女性の運動習慣者の割合	54.0% (24,245人中13,086人)

(注6) 運動習慣者とは、継続的に次の3項目全てに該当する運動習慣がある者をいう。

- ・運動の実施頻度として、週2回以上。
- ・運動の持続時間として、30分以上。
- ・運動の継続期間として、1年以上。



領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(2) 身体活動・運動		
目標項目	②運動習慣者(注6)の割合の増加		
指標	65歳以上 総数(男女計)の運動習慣者の割合		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の39.8%から1.4ポイント増加の41.2%であり、目標値の50.0%に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討  
目標値の50.0%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		39.8%						41.2%						
標本数								131人中 54人							
達成の目安(計画策定時)		39.8%	40.7%	41.5%	42.4%	43.2%	44.1%	44.9%	45.8%	46.6%	47.5%	48.3%	49.2%	50.0%	
達成の目安(中間評価後)								41.2%	42.5%	43.7%	45.0%	46.2%	47.5%	48.7%	50.0%

<参考>

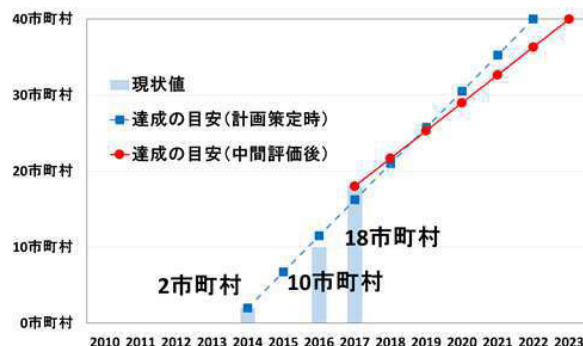
県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016(H28)
65～74歳 男女総計の運動習慣者の割合	47.1% (51,961人中24,497人)

(注6) 運動習慣者とは、継続的に次の3項目全てに該当する運動習慣がある者をいう。

- ・運動の実施頻度として、週2回以上。
- ・運動の持続時間として、30分以上。
- ・運動の継続期間として、1年以上。

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(2) 身体活動・運動		
目標項目	③住民が運動しやすいまちづくり・環境整備について協議する市町村数の増加		
指標	住民が運動しやすいまちづくり・環境整備について協議する市町村数		
データソース	がん・生活習慣病対策課調べ		
分析・評価	現状値は平成26年度調査時の2市町村から16市町村増加の18市町村であり、目標値の40市町村に達していないものの改善傾向である。		



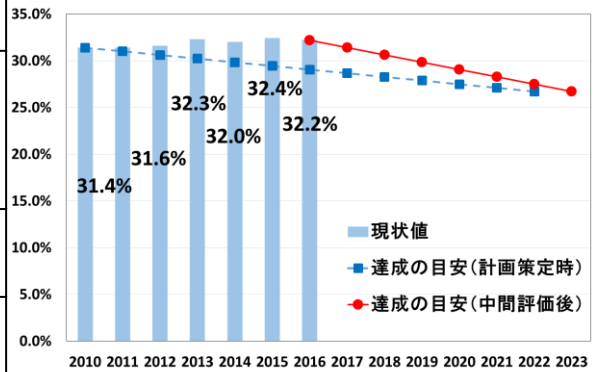
指標の見直しの検討	目標値の40市町村を維持する。
-----------	-----------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値						2 市町村		10 市町村	18 市町村	目標値維持				
標本数						40 市町村			40 市町村	目標値維持					
達成の目安 (計画策定時)						2 市町村	7 市町村	12 市町村	16 市町村	21 市町村	26 市町村	31 市町村	35 市町村	40 市町村	
達成の目安 (中間評価後)									18 市町村	22 市町村	25 市町村	29 市町村	33 市町村	36 市町村	40 市町村

<参考> 実施市町村

	2014(H26)	2016(H28)	2017(H29)
東青圏域	なし	なし	今別町
中南圏域	なし	弘前市 黒石市	弘前市 黒石市 西目屋村 板柳町
三八圏域	五戸町 階上町	五戸町 階上町 南部町	五戸町 階上町 南部町 三戸町
西北圏域	なし	五所川原市 中泊町	五所川原市 つがる市 中泊町 鶴田町
上北圏域	なし	十和田市 野辺地町 横浜町	十和田市 野辺地町 横浜町 おいらせ町 六ヶ所村
下北圏域	なし	なし	なし

領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(3) 飲酒		
目標項目	①生活習慣病のリスクを高める量(注7)を飲酒している者(一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少		
指標	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している男性の割合		
データソース	市町村国民健康保険健康診査データ(40～74歳)		
分析・評価	現状値が基準値の31.4%から0.8ポイント増加の32.2%であり悪化傾向である。		



指標の見直しの検討  
目標値の26.7%を維持する。

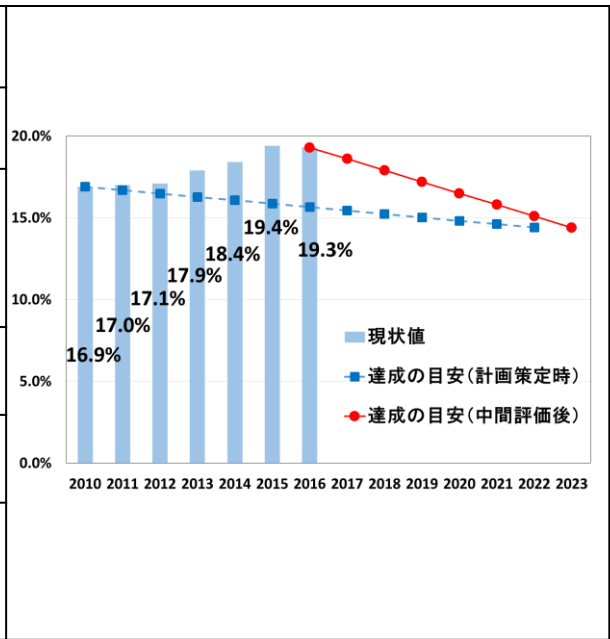
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		31.4%	31.4%	31.6%	32.3%	32.0%	32.4%	32.2%						
標本数		32,593人中 10,246人	34,579人中 10,854人	35,213人中 11,118人	36,583人中 11,818人	38,042人中 12,189人	38,781人中 12,576人	38,072人中 12,266人	目標値維持						
達成の目安(計画策定時)		31.4%	31.0%	30.6%	30.2%	29.8%	29.4%	29.1%	28.7%	28.3%	27.9%	27.5%	27.1%	26.7%	
達成の目安(中間評価後)								32.2%	31.4%	30.6%	29.8%	29.1%	28.3%	27.5%	26.7%

(注7) 生活習慣病のリスクを高める飲酒量は、純アルコール量に換算すると男性は1日平均40g以上、女性は1日平均20g以上である。

純アルコール約20gの目安は以下のとおり。

ビール	日本酒	ワイン	焼酎(25度)
中瓶1本(500ml)	1合(180ml)	180ml	110ml

領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(3) 飲酒		
目標項目	①生活習慣病のリスクを高める量(注7)を飲酒している者(一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少		
指標	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している女性の割合		
データソース	市町村国民健康保険健康診査データ(40～74歳)		
分析・評価	現状値が基準値の16.9%から2.4ポイント増加の19.3%であり悪化傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の14.4%を維持する。														
-----------	-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

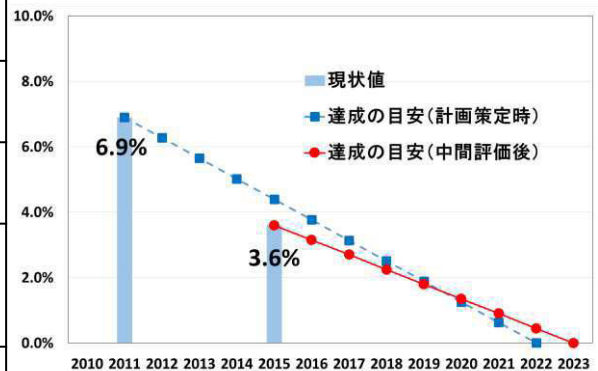
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		16.9%	17.0%	17.1%	17.9%	18.4%	19.4%	19.3%						
標本数		38,509人中 6,498人	40,033人中 6,796人	40,590人中 6,943人	41,675人中 7,470人	42,773人中 7,871人	42,955人中 8,331人	41,722人中 8,073人	目標値維持						
達成の目安(計画策定時)		16.9%	16.7%	16.5%	16.3%	16.1%	15.9%	15.7%	15.4%	15.2%	15.0%	14.8%	14.6%	14.4%	
達成の目安(中間評価後)								19.3%	18.6%	17.9%	17.2%	16.5%	15.8%	15.1%	14.4%

(注7) 生活習慣病のリスクを高める飲酒量は、純アルコール量に換算すると男性は1日平均40g以上、女性は1日平均20g以上である。

純アルコール約20gの目安は以下のとおり。

ビール	日本酒	ワイン	焼酎(25度)
中瓶1本(500ml)	1合(180ml)	180ml	110ml

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(3) 飲酒		
目標項目	② 未成年者の飲酒をなくす		
指標	中学3年生男子の飲酒の割合(注8)		
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙飲酒状況調査)		
分析・評価	現状値が基準値の6.9%から3.3ポイント減少の3.6%であり、目標値の0%に達していないものの改善傾向である。		



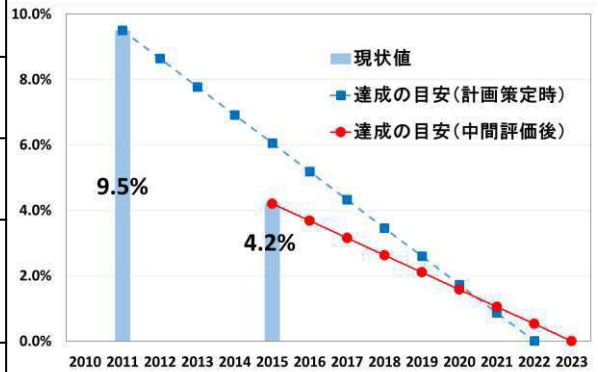
指標の見直しの検討

目標値の0%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			6.9%	—	—	—	3.6%							
標本数			2,628人中 182人	—	—	—	2,140人中 78人								
達成の目安(計画策定時)			6.9%	6.3%	5.6%	5.0%	4.4%	3.8%	3.1%	2.5%	1.9%	1.3%	0.6%	0%	
達成の目安(中間評価後)							3.6%	3.2%	2.7%	2.3%	1.8%	1.4%	0.9%	0.5%	0%

(注8) 未成年者の飲酒の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、飲酒状況に関する質問に対し「現在も飲んでいる」を選択した者の割合をいう。  
 ※回答の選択肢 「飲んだことがない」「今は飲まない」「現在も飲んでいる」

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(3) 飲酒		
目標項目	②未成年者の飲酒をなくす		
指標	中学3年生女子の飲酒の割合(注8)		
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙飲酒状況調査)		
分析・評価	現状値が基準値の9.5%から5.3ポイント減少の4.2%であり、目標値の0%に達していないものの改善傾向である。		



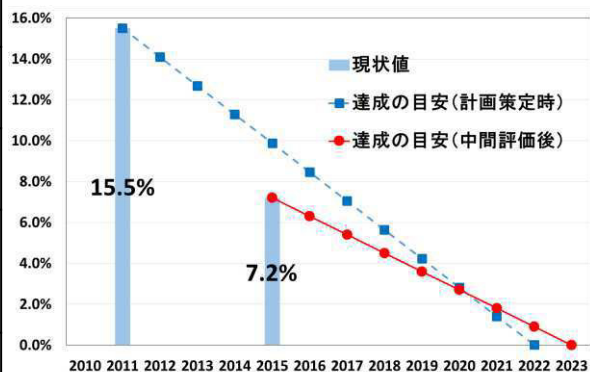
指標の見直しの検討

目標値の0%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			9.5%	—	—	—	4.2%							
標本数			2,401人中 229人	—	—	—	2,108人中 88人								
達成の目安(計画策定時)			9.5%	8.6%	7.8%	6.9%	6.0%	5.2%	4.3%	3.5%	2.6%	1.7%	0.9%	0%	
達成の目安(中間評価後)							4.2%	3.7%	3.2%	2.6%	2.1%	1.6%	1.1%	0.5%	0%

(注8) 未成年者の飲酒の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、飲酒状況に関する質問に対し「現在も飲んでいる」を選択した者の割合をいう。  
 ※回答の選択肢「飲んだことがない」「今は飲まない」「現在も飲んでいる」

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(3) 飲酒		
目標項目	②未成年者の飲酒をなくす		
指標	高校3年生男子の飲酒の割合(注8)		
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙飲酒状況調査)		
分析・評価	現状値が基準値の15.5%から8.3ポイント減少の7.2%であり、目標値の0%に達していないものの改善傾向である。		



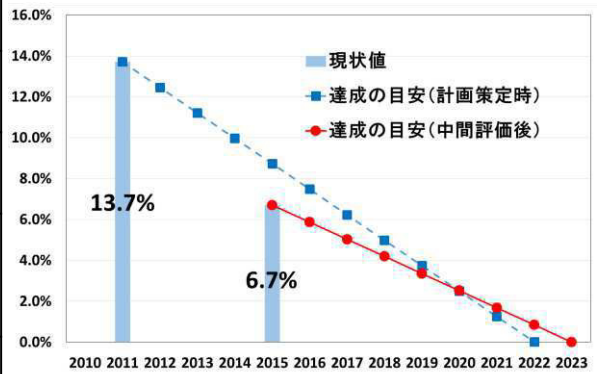
指標の見直しの検討

目標値の0%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			15.5%	—	—	—	7.2%							
標本数			1,497人中 232人	—	—	—	1,599人中 115人								
達成の目安 (計画策定時)			15.5%	14.1%	12.7%	11.3%	9.9%	8.5%	7.0%	5.6%	4.2%	2.8%	1.4%	0%	
達成の目安 (中間評価後)							7.2%	6.3%	5.4%	4.5%	3.6%	2.7%	1.8%	0.9%	0%

(注8) 未成年者の飲酒の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、飲酒状況に関する質問に対し「現在も飲んでいる」を選択した者の割合をいう。  
 ※回答の選択肢 「飲んだことがない」「今は飲まない」「現在も飲んでいる」

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(3) 飲酒		
目標項目	② 未成年者の飲酒をなくす		
指標	高校3年生女子の飲酒の割合(注8)		
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙飲酒状況調査)		
分析・評価	現状値が基準値の13.7%から7.0ポイント減少の6.7%であり、目標値の0%に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の0%を維持する。
-----------	--------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			13.7%	—	—	—	6.7%							
標本数			1,497人中 205人	—	—	—	1,730人中 116人								
達成の目安(計画策定時)			13.7%	12.5%	11.2%	10.0%	8.7%	7.5%	6.2%	5.0%	3.7%	2.5%	1.2%	0%	
達成の目安(中間評価後)							6.7%	5.9%	5.0%	4.2%	3.4%	2.5%	1.7%	0.8%	0%

(注8) 未成年者の飲酒の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、飲酒状況に関する質問に対し「現在も飲んでいる」を選択した者の割合をいう。  
 ※回答の選択肢「飲んだことがない」「今は飲まない」「現在も飲んでいる」



領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(3) 飲酒		
目標項目	③妊娠中の飲酒をなくす		
指標	妊婦の飲酒の割合(注9)		
データソース	青森県妊婦連絡票		
分析・評価	現状値が基準値の8.3%から6.0ポイント減少の2.3%であり、目標値の0%に達していないものの改善傾向である。		

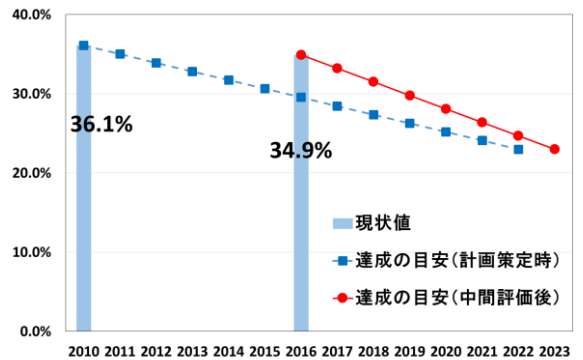


指標の見直しの検討	目標値の0%を維持する。
-----------	--------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		8.3%	5.7%	4.3%	3.3%	3.6%	2.6%	2.4%	2.3%					
標本数		9,468人中 782人	9,257人中 529人	9,223人中 392人	9,186人中 302人	8,612人中 311人	8,771人中 232人	8,093人中 191人	7,911人中 180人	目標値維持					
達成の目安(計画策定時)		8.3%	7.6%	6.9%	6.2%	5.5%	4.8%	4.2%	3.5%	2.8%	2.1%	1.4%	0.7%	0%	
達成の目安(中間評価後)									2.3%	1.9%	1.5%	1.2%	0.8%	0.4%	0%

(注9) 妊婦の飲酒の割合は、青森県妊婦連絡票において、アルコール類に関する質問に対し「時々飲む」「ほぼ毎日飲む」と回答した者の割合をいう。

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(4) 喫煙		
目標項目	①成人の喫煙率の減少		
指標	成人男性の喫煙率		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の36.1%から1.2ポイント減少の34.9%であり、目標値の23.0%以下に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の23.0%以下を維持する。
-----------	-------------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		36.1%						34.9%						
標本数		335人中121人						418人中146人		目標値維持					
達成の目安(計画策定時)		36.1%	35.0%	33.9%	32.8%	31.7%	30.6%	29.6%	28.5%	27.4%	26.3%	25.2%	24.1%	23.0%以下	
達成の目安(中間評価後)								34.9%	33.2%	31.5%	29.8%	28.1%	26.4%	24.7%	23.0%以下

<参考1>

2016(H28)年度調査の対象者が2010(H22)年度調査の対象者と同じ年齢構成だと仮定した場合の値(男性)

・喫煙者数(人)

20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	合計
2.9	2.6	12.1	7.4	16.8	15.7	8.8	10.0	9.6	8.5	9.1	6.3	0.0	0.0	0.0	109.8

∴年齢調整喫煙率 32.8%(335人中109.8人)

<参考2>

県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016(H28)
40~74歳 男性の喫煙率	37.6% (113,203人中42,537人)

<参考3>

国民生活基礎調査の結果(男性)

2010(H22)	2013(H25)	2016(H28)
38.6% (497人中192人)	40.3% (477人中192人)	36.5% (493人中180人)

## 青森県総合健診センター健診受診者の喫煙率(男性)

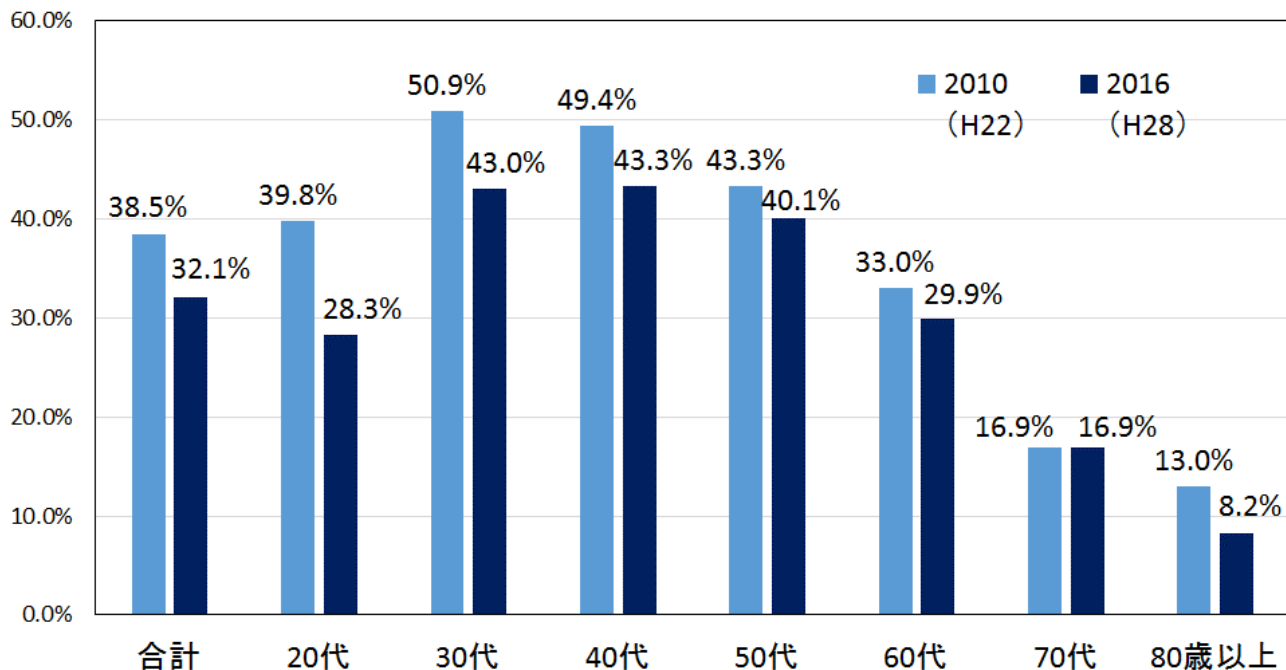
### ■2010年度(平成22年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
喫煙率	38.5%	39.8%	50.9%	49.4%	43.3%	33.0%	16.9%	13.0%
標本数	67,275人 中 25,918人	5,901人 中 2,348人	10,103人 中 5,140人	12,094人 中 5,975人	14,370人 中 6,228人	13,268人 中 4,374人	8,972人 中 1,520人	2,567人 中 333人

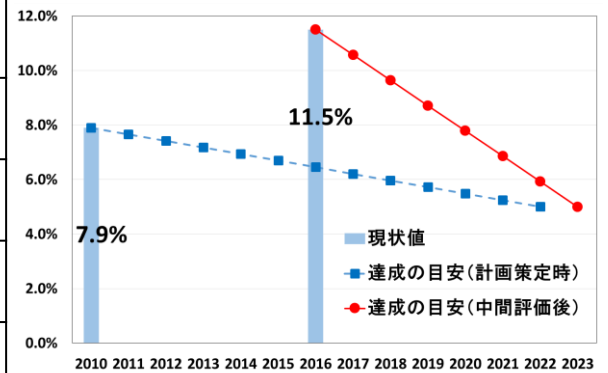
### ■2016年度(平成28年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
喫煙率	32.1%	28.3%	43.0%	43.3%	40.1%	29.9%	16.9%	8.2%
標本数	72,001人 中 23,148人	6,403人 中 1,812人	8,284人 中 3,563人	12,984人 中 5,617人	12,989人 中 5,211人	15,908人 中 4,752人	10,655人 中 1,800人	4,778人 中 393人

### 青森県総合健診センター健診受診者喫煙率(男性)



領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(4) 喫煙		
目標項目	①成人の喫煙率の減少		
指標	成人女性の喫煙率		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の7.9%から3.6ポイント増加の11.5%であり、目標値の5.0%に達しておらず悪化傾向である。		



指標の見直しの検討  
目標値の5.0%以下を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	7.9%						11.5%								
	標本数	419人中33人						469人中54人	目標値維持							
	達成の目安(計画策定時)	7.9%	7.7%	7.4%	7.2%	6.9%	6.7%	6.5%	6.2%	6.0%	5.7%	5.5%	5.2%	5.0%以下		
	達成の目安(中間評価後)							11.5%	10.6%	9.6%	8.7%	7.8%	6.9%	5.9%	5.0%以下	

<参考1>

2016(H28)年度調査の対象者が2010(H22)年度調査の対象者と同じ年齢構成だと仮定した場合の値(女性)  
・喫煙者数(人)

20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	合計
1.3	4.6	0.4	6.4	6.6	4.9	8.2	2.4	5.2	1.6	1.0	1.1	1.3	0.8	0.0	45.7

∴年齢調整喫煙率 10.9%(419人中45.7人)

<参考2>

県内医療保険者(市町村国保、協会けんぽ、各共済組合、各健保組合)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016(H28)
40~74歳 女性の喫煙率	11.4% (112,749人中12,808人)

<参考3>

国民生活基礎調査の結果

2010(H22)	2013(H25)	2016(H28)
12.7% (575人中73人)	14.3% (579人中83人)	12.2% (559人中68人)

## 青森県総合健診センター健診受診者の喫煙率(女性)

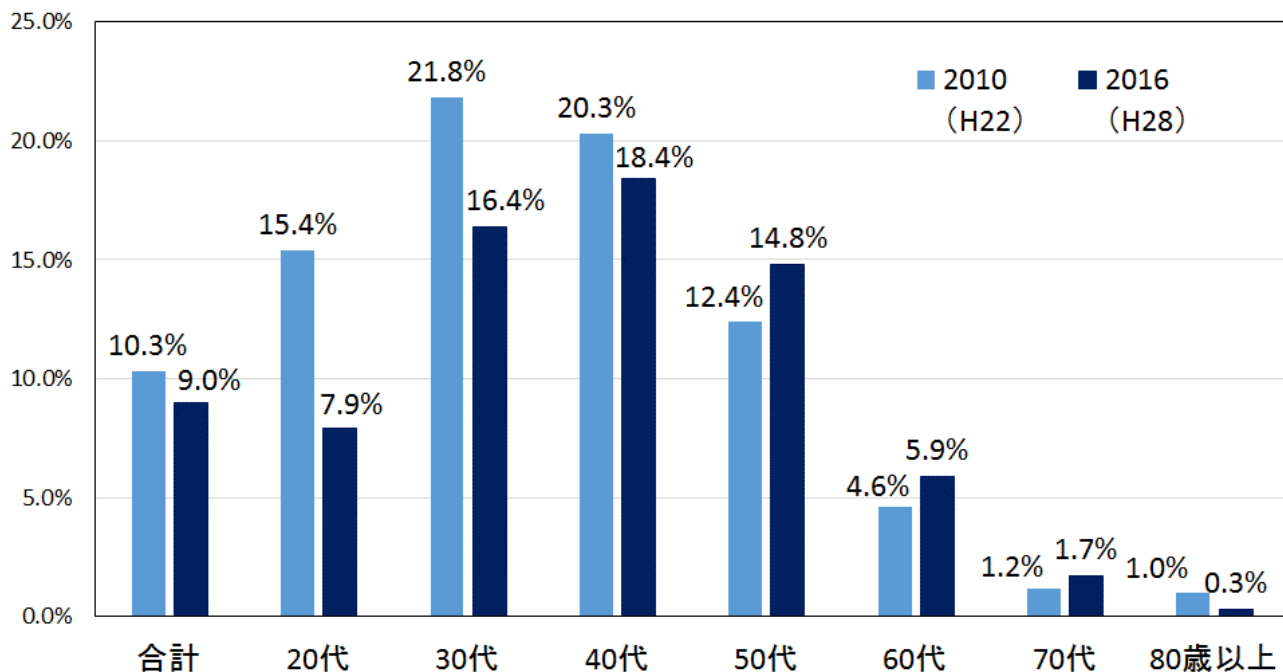
### ■2010年度(平成22年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
喫煙率	10.3%	15.4%	21.8%	20.3%	12.4%	4.6%	1.2%	1.0%
標本数	70,685人 中 7,299人	5,453人 中 842人	6,969人 中 1,521人	10,932人 中 2,221人	14,342人 中 1,777人	16,385人 中 749人	12,357人 中 148人	4,247人 中 41人

### ■2016年度(平成28年度)

年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
喫煙率	9.0%	7.9%	16.4%	18.4%	14.8%	5.9%	1.7%	0.3%
標本数	77,150人 中 6,917人	5,561人 中 440人	6,467人 中 1,063人	11,719人 中 2,151人	12,954人 中 1,917人	18,194人 中 1,082人	14,687人 中 245人	7,568人 中 19人

### 青森県総合健診センター健診受診者喫煙率(女性)



領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(4)喫煙		
目標項目	②未成年者の喫煙をなくす		
指標	中学1年生男子の喫煙の割合(注10)		
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙飲酒状況調査)		
分析・評価	現状値が基準値の0.4%から0.2ポイント減少の0.2%であり、目標値の0%に達していないものの改善傾向である。		

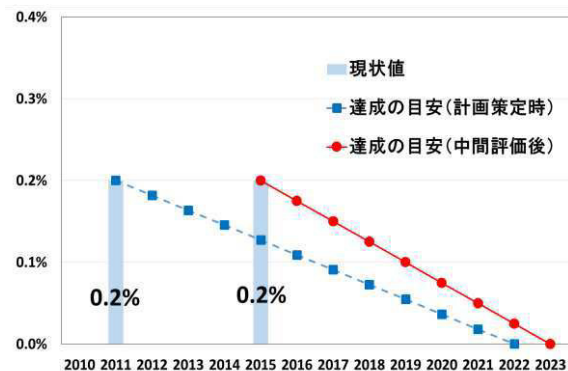


指標の見直しの検討	目標値の0%を維持する。
-----------	--------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			0.4%				0.2%							
標本数			2,449人中9人				2,076人中4人								
達成の目安(計画策定時)			0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0%	
達成の目安(中間評価後)							0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0%

(注10) 未成年者の喫煙の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、喫煙状況に関する質問に対し「現在も吸っている」を選択した者の割合をいう。  
 ※回答の選択肢「吸ったことはない」「今は吸っていない」「現在も吸っている」

領域	1 生活習慣の改善	評価	C
分野	(4)喫煙		
目標項目	②未成年者の喫煙をなくす		
指標	中学1年生女子の喫煙の割合(注10)		
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙飲酒状況調査)		
分析・評価	現状値が基準値の0.2%から変化なしの0.2%であり横ばい傾向である。		

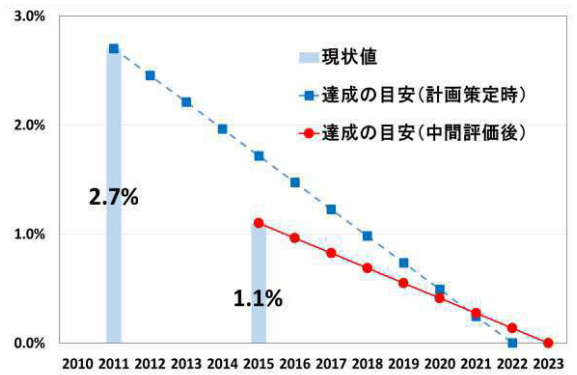


指標の見直しの検討	目標値の0%を維持する。
-----------	--------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			0.2%				0.2%							
標本数			2,496人中4人				2,052人中4人								
達成の目安(計画策定時)			0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0%	
達成の目安(中間評価後)							0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0%

(注10) 未成年者の喫煙の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、喫煙状況に関する質問に対し「現在も吸っている」を選択した者の割合をいう。  
 ※回答の選択肢「吸ったことはない」「今は吸っていない」「現在も吸っている」

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(4)喫煙		
目標項目	②未成年者の喫煙をなくす		
指標	高校3年生男子の喫煙の割合(注10)		
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙飲酒状況調査)		
分析・評価	現状値が基準値の2.7%から1.6ポイント減少の1.1%であり、目標値の0%に達していないものの改善傾向である。		



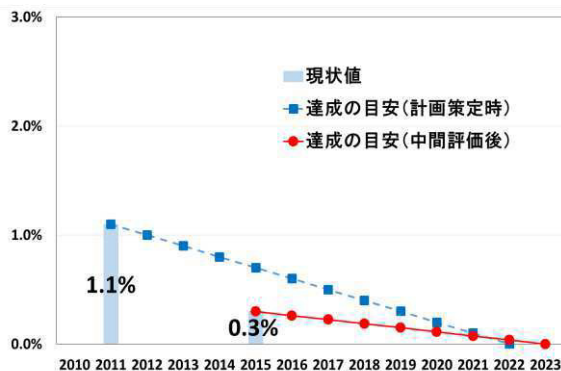
指標の見直しの検討	目標値の0%を維持する。
-----------	--------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			2.7%				1.1%							
標本数			1,497人中40人				1,599人中18人								
達成の目安(計画策定時)			2.7%	2.5%	2.2%	2.0%	1.7%	1.5%	1.2%	1.0%	0.7%	0.5%	0.2%	0%	
達成の目安(中間評価後)							1.1%	1.0%	0.8%	0.7%	0.6%	0.4%	0.3%	0.1%	0%

(注10) 未成年者の喫煙の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、喫煙状況に関する質問に対し「現在も吸っている」を選択した者の割合をいう。  
 ※回答の選択肢「吸ったことはない」「今は吸っていない」「現在も吸っている」



領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(4)喫煙		
目標項目	②未成年者の喫煙をなくす		
指標	高校3年生女子の喫煙の割合(注10)		
データソース	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査(青森県未成年者喫煙飲酒状況調査)		
分析・評価	現状値が基準値の1.1%から0.8ポイント減少の0.3%であり、目標値の0%に達していないものの改善傾向である。		

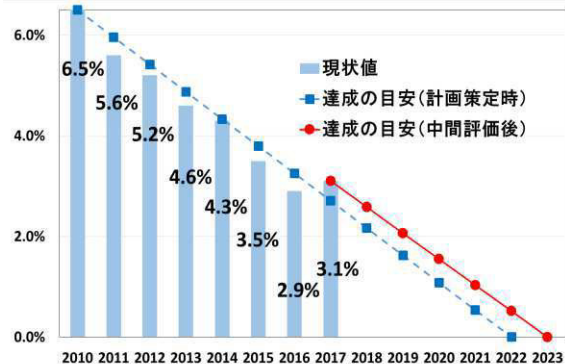


指標の見直しの検討	目標値の0%を維持する。
-----------	--------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			1.1%				0.3%							
標本数			1,497人中16人				1,730人中6人								
達成の目安 (計画策定時)			1.1%	1.0%	0.9%	0.8%	0.7%	0.6%	0.5%	0.4%	0.3%	0.2%	0.1%	0%	
達成の目安 (中間評価後)							0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0%

(注10) 未成年者の喫煙の割合は、公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙等状況調査において、喫煙状況に関する質問に対し「現在も吸っている」を選択した者の割合をいう。  
 ※回答の選択肢「吸ったことはない」「今は吸っていない」「現在も吸っている」

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(4)喫煙		
目標項目	③妊娠中の喫煙をなくす		
指標	妊婦の喫煙の割合(注11)		
データソース	青森県妊婦連絡票		
分析・評価	現状値が基準値の6.5%から3.4ポイント減少の3.1%であり、目標値の0%に達していないものの改善傾向である。		

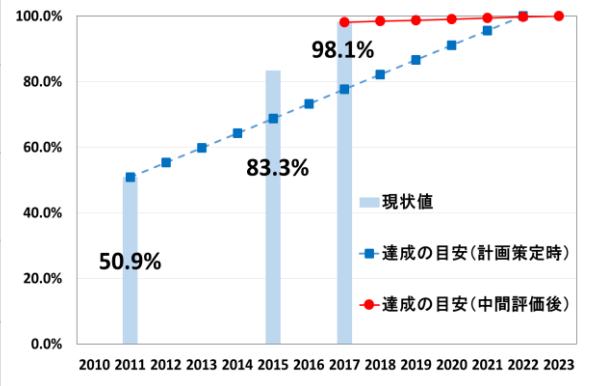


指標の見直しの検討	目標値の0%を維持する。														
-----------	--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	6.5%	5.6%	5.2%	4.6%	4.3%	3.5%	2.9%	3.1%							
	標本数	9,468人中 617人	9,257人中 518人	9,223人中 477人	9,186人中 419人	8,612人中 372人	8,771人中 307人	8,093人中 231人	7,911人中 243人	目標値維持						
	達成の目安 (計画策定時)	6.5%	6.0%	5.4%	4.9%	4.3%	3.8%	3.3%	2.7%	2.2%	1.6%	1.1%	0.5%	0%		
	達成の目安 (中間評価後)								3.1%	2.6%	2.1%	1.6%	1.0%	0.5%	0%	

(注11) 妊婦の喫煙の割合は、青森県妊婦連絡票において、喫煙に関する質問に対し「有」と回答した者の割合をいう。

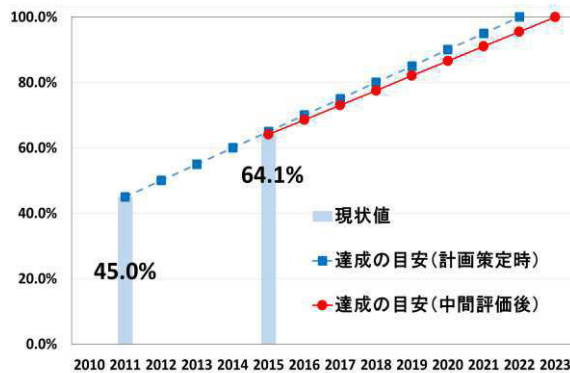
領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(4)喫煙		
目標項目	④受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加		
指標	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している県庁舎の割合		
データソース	青森県受動喫煙防止対策実施状況調査		
分析・評価	現状値が基準値の50.9%から47.2ポイント増加の98.1%であり、目標値の100%に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の100%を維持する。													
-----------	----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		50.9%					83.3%		98.1%					
標本数		57ヶ所中 29ヶ所					54ヶ所中 45ヶ所		54ヶ所中 53ヶ所	目標値維持					
達成の目安 (計画策定時)		50.9%	55.4%	59.8%	64.3%	68.8%	73.2%	77.7%	82.1%	86.6%	91.1%	95.5%	100%		
達成の目安 (中間評価後)									98.1%	98.4%	98.7%	99.0%	99.4%	99.7%	100%

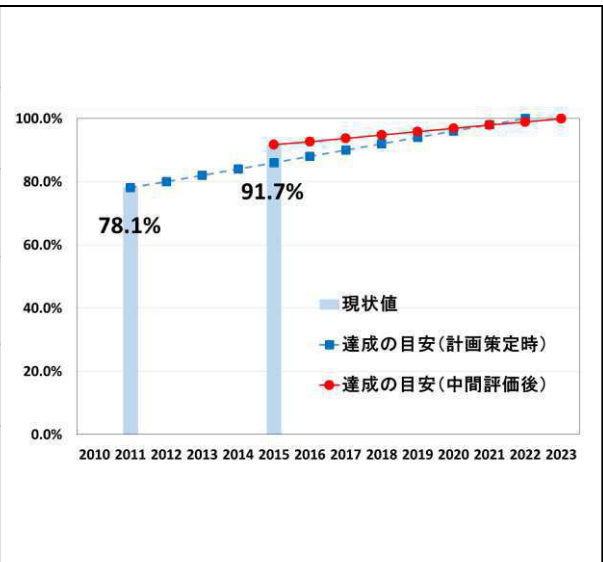
領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(4)喫煙		
目標項目	④受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加		
指標	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している市町村庁舎の割合		
データソース	青森県受動喫煙防止対策実施状況調査		
分析・評価	現状値が基準値の45.0%から19.1ポイント増加の64.1%であり、目標値の100%に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の100%を維持する。
-----------	----------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		45.0%					64.1%							
標本数			40ヶ所中 18ヶ所				39ヶ所中 25ヶ所			目標値維持					
達成の目安 (計画策定時)			45.0%	50.0%	55.0%	60.0%	65.0%	70.0%	75.0%	80.0%	85.0%	90.0%	95.0%	100%	
達成の目安 (中間評価後)							64.1%	68.6%	73.1%	77.6%	82.1%	86.5%	91.0%	95.5%	100%

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(4)喫煙		
目標項目	④受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加		
指標	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している文化施設の割合		
データソース	青森県受動喫煙防止対策実施状況調査		
分析・評価	現状値が基準値の78.1%から13.6ポイント増加の91.7%であり、目標値の100%に達していないものの改善傾向である。		

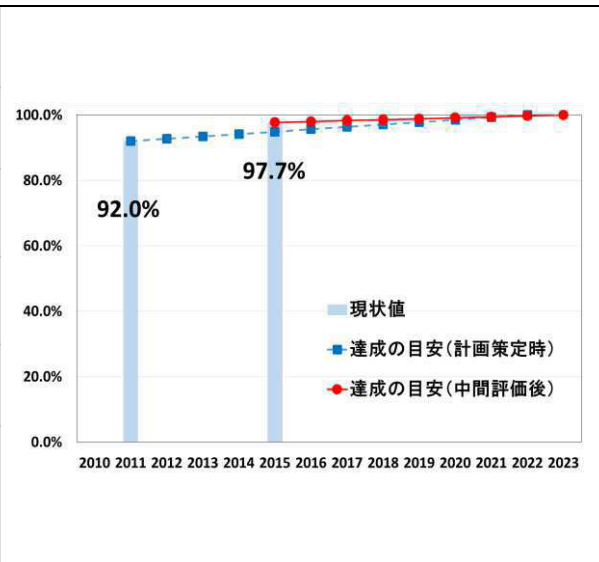


指標の見直しの検討

目標値の100%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			78.1%				91.7%							
標本数			128ヶ所 中 100ヶ所				133ヶ所 中 122ヶ所								
達成の目安(計画策定時)			78.1%	80.1%	82.1%	84.1%	86.1%	88.1%	90.0%	92.0%	94.0%	96.0%	98.0%	100%	
達成の目安(中間評価後)							91.7%	92.7%	93.8%	94.8%	95.9%	96.9%	97.9%	99.0%	100%

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(4)喫煙		
目標項目	④受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加		
指標	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している教育・保育施設の割合		
データソース	青森県受動喫煙防止対策実施状況調査		
分析・評価	現状値が基準値の92.0%から5.7ポイント増加の97.7%であり、目標値の100%に達していないものの改善傾向である。		

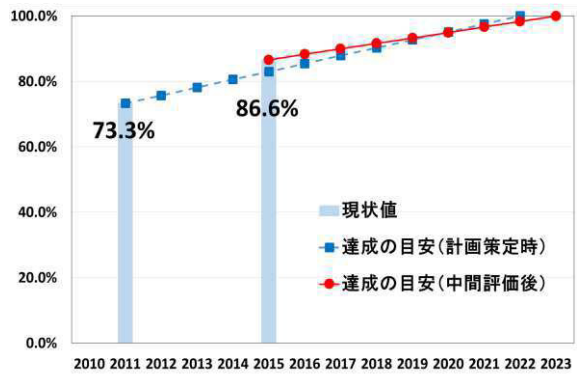


指標の見直しの検討

目標値の100%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			92.0%				97.7%							
標本数			619ヶ所 中 570ヶ所				577ヶ所 中 564ヶ所								
達成の目安 (計画策定時)			92.0%	92.7%	93.5%	94.2%	94.9%	95.6%	96.4%	97.1%	97.8%	98.5%	99.3%	100%	
達成の目安 (中間評価後)							97.7%	98.0%	98.3%	98.6%	98.9%	99.1%	99.4%	99.7%	100%

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(4)喫煙		
目標項目	④受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加		
指標	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している医療機関の割合		
データソース	青森県受動喫煙防止対策実施状況調査		
分析・評価	現状値が基準値の73.3%から13.3ポイント増加の86.6%であり、目標値の100%に達していないものの改善傾向である。		

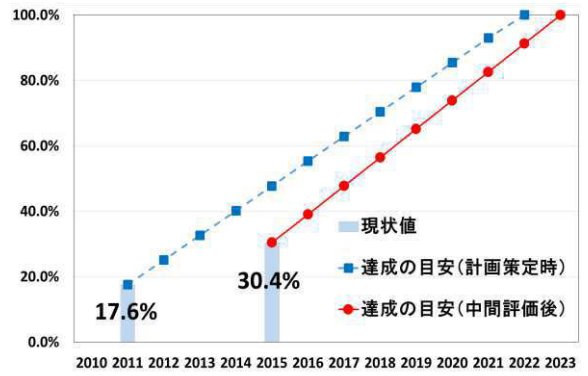


指標の見直しの検討

目標値の100%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			73.3%				86.6%							
標本数			172ヶ所 中 126ヶ所				164ヶ所 中 142ヶ所								
達成の目安(計画策定時)			73.3%	75.7%	78.2%	80.6%	83.0%	85.4%	87.9%	90.3%	92.7%	95.1%	97.6%	100%	
達成の目安(中間評価後)							86.6%	88.3%	90.0%	91.6%	93.3%	95.0%	96.7%	98.3%	100%

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(4)喫煙		
目標項目	④受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加		
指標	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している事業所(従業員50人以上)の割合		
データソース	青森県受動喫煙防止対策実施状況調査		
分析・評価	現状値が基準値の17.6%から12.8ポイント増加の30.4%であり、目標値の100%に達していないものの改善傾向である。		



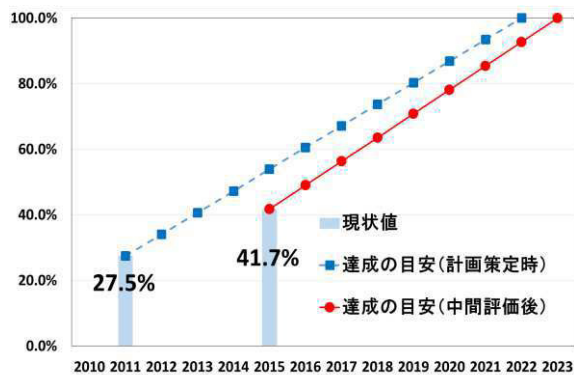
指標の見直しの検討

目標値の100%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			17.6%				30.4%							
標本数			17ヶ所中 3ヶ所				23ヶ所中 7ヶ所								
達成の目安(計画策定時)			17.6%	25.1%	32.7%	40.2%	47.7%	55.3%	62.8%	70.4%	77.9%	85.4%	93.0%	100%	
達成の目安(中間評価後)							30.4%	39.1%	47.8%	56.5%	65.2%	73.9%	82.6%	91.3%	100%



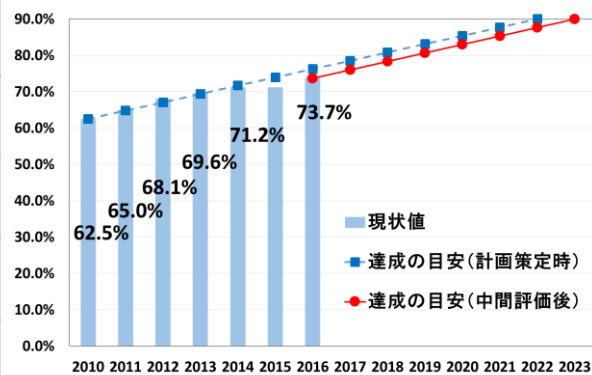
領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(4)喫煙		
目標項目	④受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合の増加		
指標	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している事業所(従業員50人未満)の割合		
データソース	青森県受動喫煙防止対策実施状況調査		
分析・評価	現状値が基準値の27.5%から14.2ポイント増加の41.7%であり、目標値の100%に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の100%を維持する。
-----------	----------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		27.5%					41.7%							
標本数		316ヶ所 中 87ヶ所					367ヶ所 中 153ヶ所								
達成の目安(計画策定時)		27.5%	34.1%	40.7%	47.3%	53.9%	60.5%	67.0%	73.6%	80.2%	86.8%	93.4%	100%		
達成の目安(中間評価後)						41.7%	49.0%	56.3%	63.6%	70.9%	78.1%	85.4%	92.7%	100%	

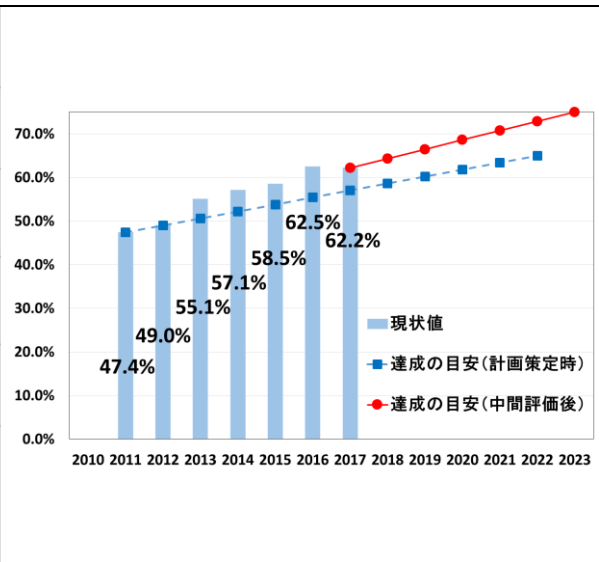
領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(5) 歯・口腔の健康		
目標項目	①3歳児でう蝕のない者の割合の増加		
指標	3歳児でう蝕のない者の割合		
データソース	3歳児歯科健康診査		
分析・評価	現状値が基準値の62.5%から11.2ポイント増加の73.7%であり、目標値の90.0%に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の90.0%を維持する。
-----------	-----------------

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		62.5%	65.0%	68.1%	69.6%	71.2%	71.2%	73.7%						
標本数		9,775人中 6,114人	9,885人中 6,421人	9,446人中 6,429人	9,404人中 6,548人	9,425人中 6,711人	8,928人中 6,360人	8,909人中 6,568人	目標値維持						
達成の目安 (計画策定時)		62.5%	64.8%	67.1%	69.4%	71.7%	74.0%	76.2%	78.5%	80.8%	83.1%	85.4%	87.7%	90.0%	
達成の目安 (中間評価後)								73.7%	76.0%	78.4%	80.7%	83.0%	85.3%	87.7%	90.0%

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(5) 歯・口腔の健康		
目標項目	②3歳児で過去1年間にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合の増加		
指標	3歳児で過去1年間にフッ化物歯面塗布を受けたことのある者の割合		
データソース	幼児間食摂取状況等調査		
分析・評価	現状値が基準値の47.4%から14.8ポイント増加の62.2%であり、目標値の65.0%に達していないものの改善傾向である。		



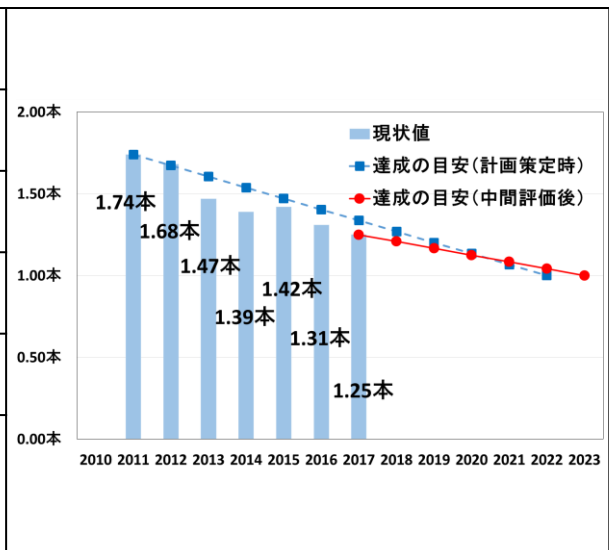
指標の見直しの検討

現状値が目標値に近接しており、より高い目標設定が適当である。  
 新目標値は、う蝕予防としてフッ化物歯面塗布の有効性に対する保護者の理解が進み、フッ化物歯面塗布に取り組む市町村が増加している現状から75.0%とする。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			47.4%	49.0%	55.1%	57.1%	58.5%	62.5%	62.2%					
標本数			9,881人中 4,680人	9,461人中 4,636人	9,407人中 5,187人	9,438人中 5,393人	8,909人中 5,212人	8,887人中 5,558人	8,894人中 5,530人						
達成の目安 (計画策定時)			47.4%	49.0%	50.6%	52.2%	53.8%	55.4%	57.0%	58.6%	60.2%	61.8%	63.4%	65.0%	
達成の目安 (中間評価後)									62.2%	64.3%	66.5%	68.6%	70.7%	72.9%	75.0%

旧目標値 65.0%  
↓  
新目標値 75.0%

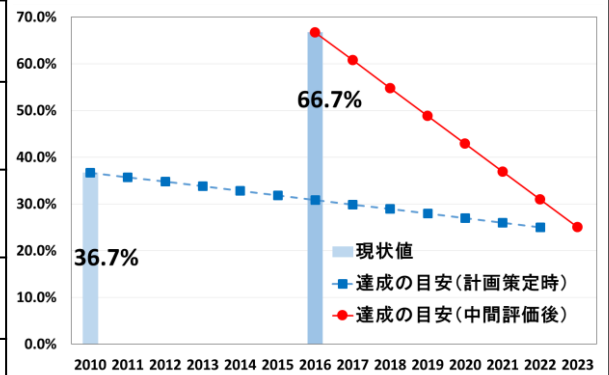
領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(5) 歯・口腔の健康		
目標項目	③12歳児の一人平均う歯数の減少		
指標	12歳児の一人平均う歯数		
データソース	県教育委員会学校保健調査		
分析・評価	現状値が基準値の1.74本から0.49本減少の1.25本であり、目標値の1.00本未滿に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の1.00本未滿を維持する。														
-----------	-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値		1.74本	1.68本	1.47本	1.39本	1.42本	1.31本	1.25本							
	標本数		悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	目標値維持						
	達成の目安(計画策定時)		1.74本	1.67本	1.61本	1.54本	1.47本	1.40本	1.34本	1.27本	1.20本	1.13本	1.07本	1.00本未滿		
	達成の目安(中間評価後)								1.25本	1.21本	1.17本	1.13本	1.08本	1.04本	1.00本未滿	

領域	1 生活習慣の改善	評価	D
分野	(5) 歯・口腔の健康		
目標項目	④40歳代における進行した歯周炎を有する者(注12)の割合の減少		
指標	40歳代における進行した歯周炎を有する者(注12)の割合		
データソース	青森県歯科疾患実態調査		
分析・評価	現状値が基準値の36.7%から30.0ポイント増加の66.7%であり悪化傾向である。		

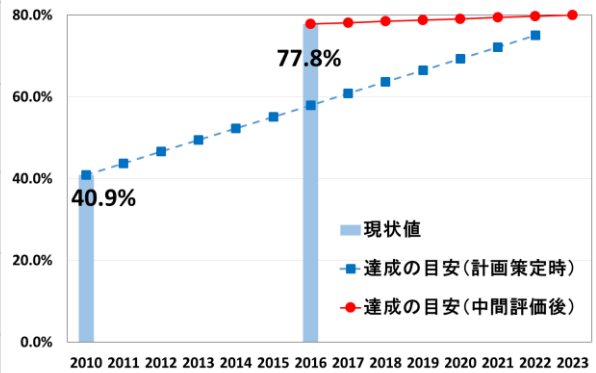


指標の見直しの検討	目標値の25.0%を維持する。														
-----------	-----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	36.7%						66.7%								
	標本数	30人中 11人						27人中 18人								
	達成の目安 (計画策定時)	36.7%	35.7%	34.8%	33.8%	32.8%	31.8%	30.9%	29.9%	28.9%	27.9%	27.0%	26.0%	25.0%		
	達成の目安 (中間評価後)							66.7%	60.7%	54.8%	48.8%	42.9%	36.9%	31.0%	25.0%	

(注12) 40歳代における進行した歯周炎を有する者とは、青森県歯科疾患実態調査の対象者である40～49歳の者のうち、歯科医師による口腔診査の結果、歯周ポケットが4mm以上であると診断された者をいう。

領域	1 生活習慣の改善	評価	A
分野	(5) 歯・口腔の健康		
目標項目	⑤40歳で喪失歯のない者(注13)の割合の増加		
指標	40歳で喪失歯のない者(注13)の割合		
データソース	青森県歯科疾患実態調査		
分析・評価	現状値が基準値の40.9%から36.9ポイント増加の77.8%であり、目標値の75.0%に達している。		



指標の見直しの検討

目標値に達しており、より高い目標設定が適当である。  
 新目標値は、当面の間この年代の8割の者が歯を喪失しないことが望ましいことから80.0%とする。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		40.9%						77.8%						
標本数		22人中9人						27人中21人							
達成の目安(計画策定時)		40.9%	43.7%	46.6%	49.4%	52.3%	55.1%	57.9%	60.8%	63.6%	66.5%	69.3%	72.2%	75.0%	
達成の目安(中間評価後)								77.8%	78.1%	78.4%	78.7%	79.1%	79.4%	79.7%	80.0%

旧目標値 75.0%  
↓  
新目標値 80.0%

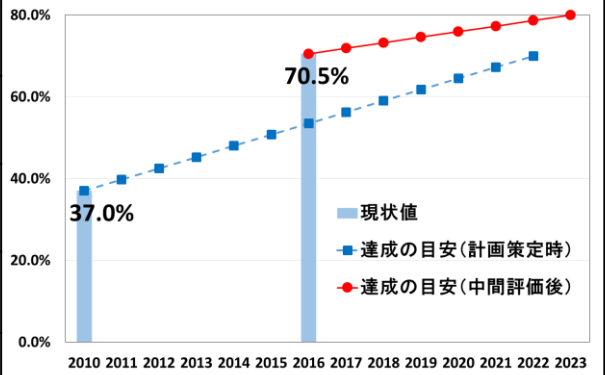
<参考> 青森県県民健康・栄養調査の結果

	2016 (H28)
自分の歯(※)が28本以上と回答した35~44歳の者の割合 ※自分の歯には、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含まない。親知らずを抜くと全部で28本が正常だが、28本より多かったり、少なかったりすることもある。	59.8% (127人中76人)

(注13) 40歳で喪失歯のない者とは、青森県歯科疾患実態調査の対象者である35~44歳の者のうち、歯科医師による口腔診査の結果、喪失歯がないと診断された者をいう。

- なお、喪失歯の定義は以下のとおり。
- ・抜去または脱落により喪失した永久歯をいう。ただし、親知らずは含めない。
  - ・インプラントは喪失歯とする。
  - ・先天性欠如または何らかの理由で歯を喪失したことが明らかであっても、歯列等の関係から補綴処置の必要性が認められないものについては、喪失歯に含まない。

領域	1 生活習慣の改善	評価	A
分野	(5) 歯・口腔の健康		
目標項目	⑥60歳で24歯以上の自分の歯を有する者(注14)の割合の増加		
指標	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者(注14)の割合		
データソース	青森県歯科疾患実態調査		
分析・評価	現状値が基準値の37.0%から33.5ポイント増加の70.5%であり、目標値の70.0%に達している。		



指標の見直しの検討

目標値に達しており、より高い目標設定が適当である。  
 新目標値は健康日本21(第二次)と同じ80.0%とする。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		37.0%						70.5%						
標本数		73人中 27人						44人中 31人							
達成の目安(計画策定時)		37.0%	39.8%	42.5%	45.3%	48.0%	50.8%	53.5%	56.3%	59.0%	61.8%	64.5%	67.3%	70.0%	
達成の目安(中間評価後)								70.5%	71.9%	73.2%	74.6%	75.9%	77.3%	78.6%	80.0%

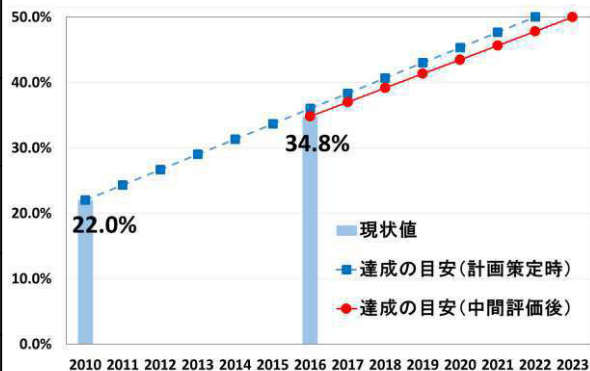
旧目標値 70.0%  
↓  
新目標値 80.0%

<参考> 青森県県民健康・栄養調査の結果

	2016(H28)
自分の歯(※)が24本以上と回答した55～64歳の者の割合 ※自分の歯には、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含まない。親知らずを抜くと全部で28本が正常だが、28本より多かったり、少なかったりすることもある。	51.7% (145人中75人)

(注14) 60歳で24歯以上自分の歯を有する者とは、青森県歯科疾患実態調査の対象者である55～64歳の者のうち、歯科医師による口腔診査の結果、24歯以上の自分の歯があると診断された者をいう。

領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(5) 歯・口腔の健康		
目標項目	⑦80歳で20歯以上の自分の歯を有する者(注15)の割合の増加		
指標	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者(注15)の割合		
データソース	青森県歯科疾患実態調査		
分析・評価	現状値が基準値の22.0%から12.8ポイント増加の34.8%であり、目標値の50.0%に達していないものの改善傾向である。		
指標の見直しの検討	目標値の50.0%を維持する。		



データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		22.0%						34.8%						
標本数		59人中13人						46人中16人							
達成の目安(計画策定時)		22.0%	24.3%	26.7%	29.0%	31.3%	33.7%	36.0%	38.3%	40.7%	43.0%	45.3%	47.7%	50.0%	
達成の目安(中間評価後)								34.8%	37.0%	39.1%	41.3%	43.5%	45.7%	47.8%	50.0%

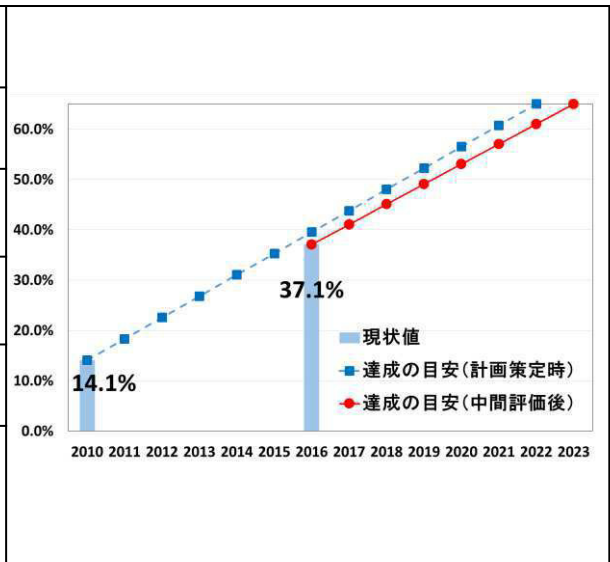
<参考> 青森県県民健康・栄養調査の結果

	2016(H28)
自分の歯(※)が20本以上と回答した75~84歳の者の割合 ※自分の歯には、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含まない。親知らずを抜くと全部で28本が正常だが、28本より多かったり、少なかったりすることもある。	31.0% (113人中35人)

(注15) 80歳で20歯以上自分の歯を有する者とは、青森県歯科疾患実態調査の対象者である75~84歳の者のうち、歯科医師による口腔診査の結果、20歯以上の自分の歯があると診断された者をいう。



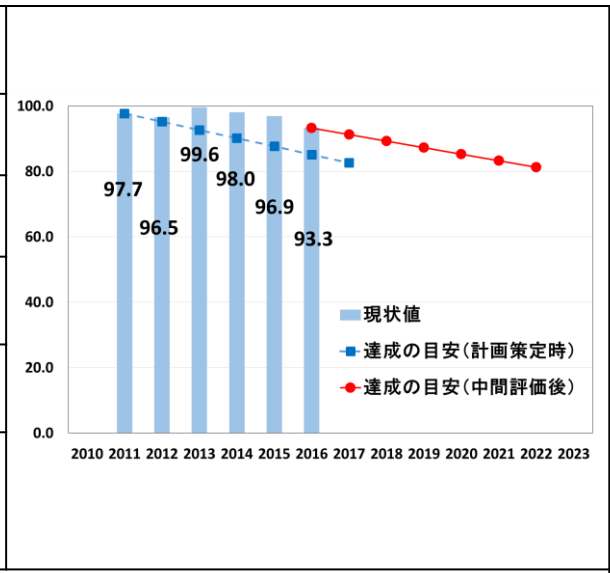
領域	1 生活習慣の改善	評価	B
分野	(5) 歯・口腔の健康		
目標項目	⑧過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加		
指標	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合(20歳以上)		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の14.1%から23.0ポイント増加の37.1%であり、目標値の65.0%に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討 目標値の65.0%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		14.1%						37.1%						
標本数		753人中 106人						886人 中329人							
達成の目安 (計画策定時)		14.1%	18.3%	22.6%	26.8%	31.1%	35.3%	39.5%	43.8%	48.0%	52.3%	56.5%	60.8%	65.0%	
達成の目安 (中間評価後)								37.1%	41.1%	45.1%	49.1%	53.0%	57.0%	61.0%	65.0%

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(1)がん		
目標項目	①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少		
指標	75歳未満のがんの年齢調整死亡率(人口10万対)		
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「人口動態調査」をもとに算定)		
分析・評価	現状値が基準値の97.7から4.4ポイント減少の93.3であり、目標値の82.6に達していないものの改善傾向である。		

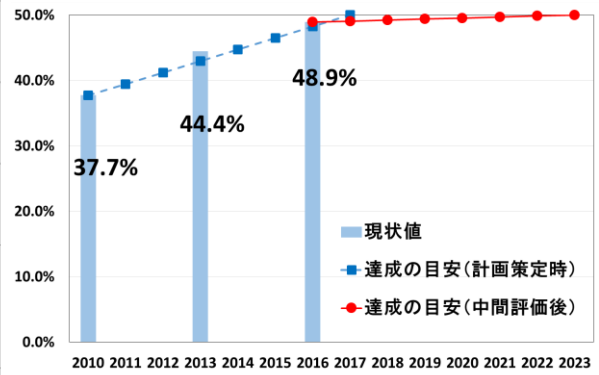


指標の見直しの検討

2018年(平成30年)3月に策定された「第三期青森県がん対策推進計画」に準じて81.3を新たな目標値とし、目標年次は同計画の期間に合わせて2017年(H29年)から2022年に変更する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			97.7	96.5	99.6	98.0	96.9	93.3						
標本数			-	-	-	-	-	-							
達成の目安 (計画策定時)			97.7	95.2	92.7	90.2	87.6	85.1	82.6						
達成の目安 (中間評価後)								93.3	91.3	89.3	87.3	85.3	83.3	81.3	

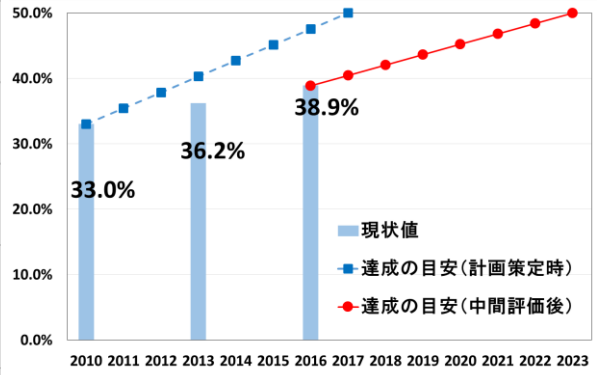
領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(1)がん		
目標項目	②がん検診の受診率の向上		
指標	男性の胃がん検診の受診率		
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)		
分析・評価	現状値が基準値の37.7%から11.2ポイント増加の48.9%であり、目標値の50.0%以上に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討 2018年(平成30年)3月に策定された「第三期青森県がん対策推進計画」に準じて目標値の50.0%以上を維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		37.7%			44.4%			48.9%						
標本数		-			-			-		目標値維持					
達成の目安(計画策定時)		37.7%	39.5%	41.2%	43.0%	44.7%	46.5%	48.2%	50.0%以上						
達成の目安(中間評価後)								48.9%	49.1%	49.2%	49.4%	49.5%	49.7%	49.8%	50.0%以上

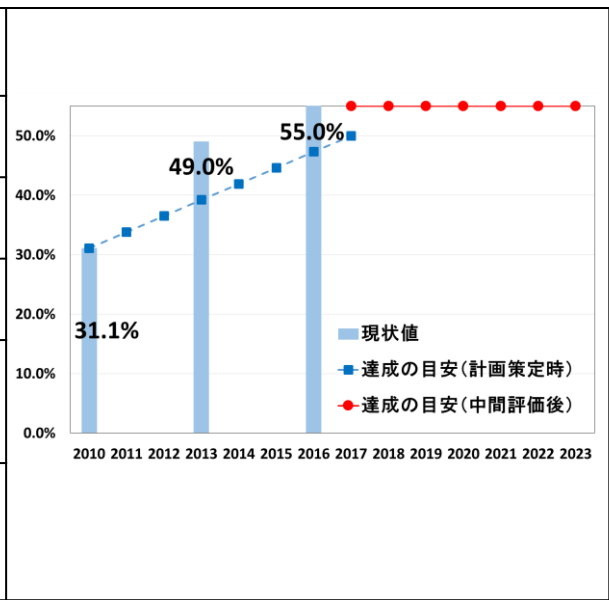
領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(1)がん		
目標項目	②がん検診の受診率の向上		
指標	女性の胃がん検診の受診率		
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)		
分析・評価	現状値が基準値の33.0%から5.9ポイント増加の38.9%であり、目標値の50.0%以上に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討 2018年(平成30年)3月に策定された「第三期青森県がん対策推進計画」に準じて目標値の50.0%以上を維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		33.0%			36.2%			38.9%						
標本数		-			-			-		目標値維持					
達成の目安(計画策定時)		33.0%	35.4%	37.9%	40.3%	42.7%	45.1%	47.6%	50.0%以上						
達成の目安(中間評価後)								38.9%	40.5%	42.1%	43.7%	45.2%	46.8%	48.4%	50.0%以上

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	A
分野	(1)がん		
目標項目	②がん検診の受診率の向上		
指標	男性の肺がん検診の受診率		
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター (厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)		
分析・評価	現状値が基準値の31.1%から23.9ポイント増加の55.0%であり、目標値の50.0%以上に達している。		

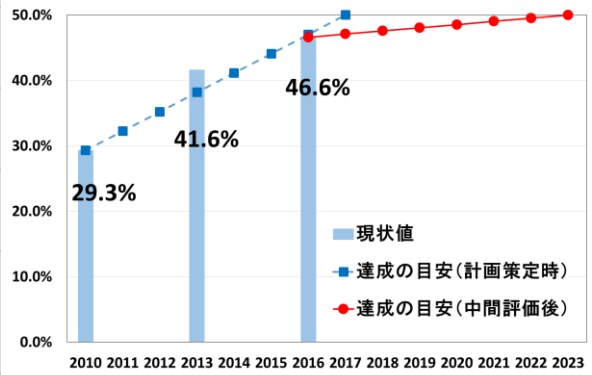


指標の見直しの検討

2018年(平成30年)3月に策定された「第三期青森県がん対策推進計画」に準じて目標値の50.0%以上を維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		31.1%			49.0%			55.0%						
標本数		-			-			-		目標値維持					
達成の目安 (計画策定時)		31.1%	33.8%	36.5%	39.2%	41.9%	44.6%	47.3%	50.0%以上						
達成の目安 (中間評価後)								55.0%	50.0%以上	50.0%以上	50.0%以上	50.0%以上	50.0%以上	50.0%以上	50.0%以上

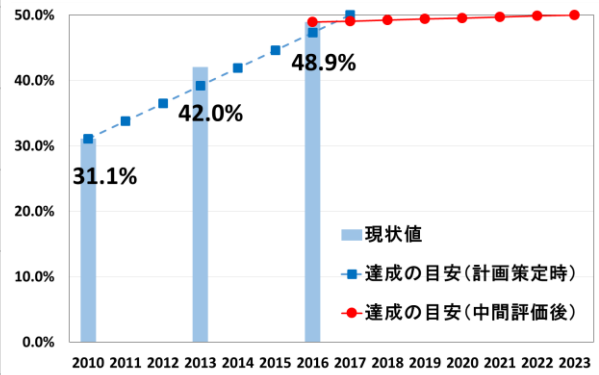
領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(1)がん		
目標項目	②がん検診の受診率の向上		
指標	女性の肺がん検診の受診率		
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター (厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)		
分析・評価	現状値が基準値の29.3%から17.3ポイント増加の46.6%であり、目標値の50.0%以上に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討 2018年(平成30年)3月に策定された「第三期青森県がん対策推進計画」に準じて目標値の50.0%以上を維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		29.3%			41.6%			46.6%						
標本数		-			-			-		目標値維持					
達成の目安(計画策定時)		29.3%	32.3%	35.2%	38.2%	41.1%	44.1%	47.0%	50.0%以上						
達成の目安(中間評価後)								46.6%	47.1%	47.6%	48.1%	48.5%	49.0%	49.5%	50.0%以上

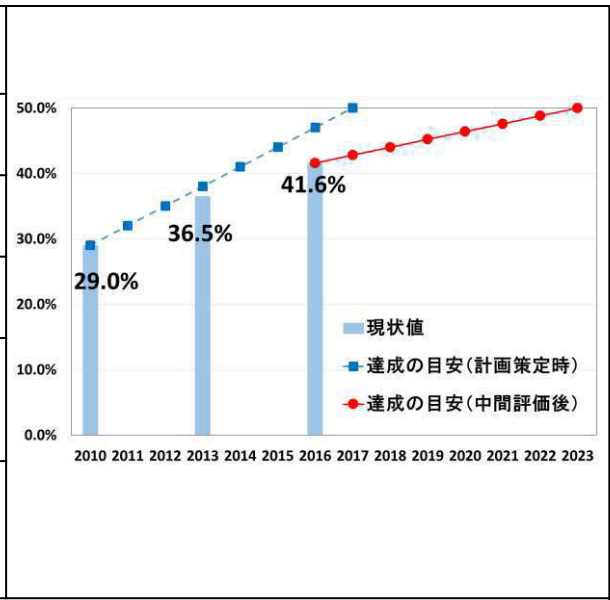
領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(1)がん		
目標項目	②がん検診の受診率の向上		
指標	男性の大腸がん検診の受診率		
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター (厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)		
分析・評価	現状値が基準値の31.1%から17.8ポイント増加の48.9%であり、目標値の50.0%以上に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討 2018年(平成30年)3月に策定された「第三期青森県がん対策推進計画」に準じて目標値の50.0%以上を維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		31.1%			42.0%			48.9%						
標本数		-			-			-		目標値維持					
達成の目安(計画策定時)		31.1%	33.8%	36.5%	39.2%	41.9%	44.6%	47.3%	50.0%以上						
達成の目安(中間評価後)								48.9%	49.1%	49.2%	49.4%	49.5%	49.7%	49.8%	50.0%以上

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(1)がん		
目標項目	②がん検診の受診率の向上		
指標	女性の大腸がん検診の受診率		
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)		
分析・評価	現状値が基準値の29.0%から12.6ポイント増加の41.6%であり、目標値の50.0%以上に達していないものの改善傾向である。		

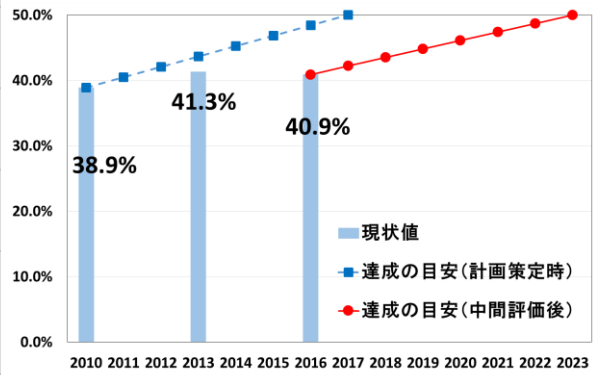


指標の見直しの検討 2018年(平成30年)3月に策定された「第三期青森県がん対策推進計画」に準じて目標値の50.0%以上を維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		29.0%			36.5%			41.6%						
標本数		-			-			-		目標値維持					
達成の目安(計画策定時)		29.0%	32.0%	35.0%	38.0%	41.0%	44.0%	47.0%	50.0%以上						
達成の目安(中間評価後)								41.6%	42.8%	44.0%	45.2%	46.4%	47.6%	48.8%	50.0%以上



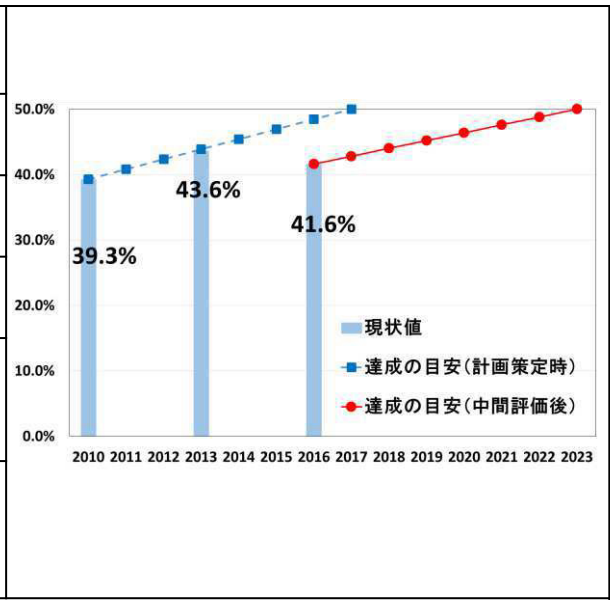
領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(1)がん		
目標項目	②がん検診の受診率の向上		
指標	20～69歳 女性の子宮頸がん検診の受診率		
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター(厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)		
分析・評価	現状値が基準値の38.9%から2.0ポイント増加の40.9%であり、目標値の50.0%以上に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討 2018年(平成30年)3月に策定された「第三期青森県がん対策推進計画」に準じて目標値の50.0%以上を維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		38.9%			41.3%			40.9%						
標本数		-			-			-		目標値維持					
達成の目安(計画策定時)		38.9%	40.5%	42.1%	43.7%	45.2%	46.8%	48.4%	50.0%以上						
達成の目安(中間評価後)								40.9%	42.2%	43.5%	44.8%	46.1%	47.4%	48.7%	50.0%以上

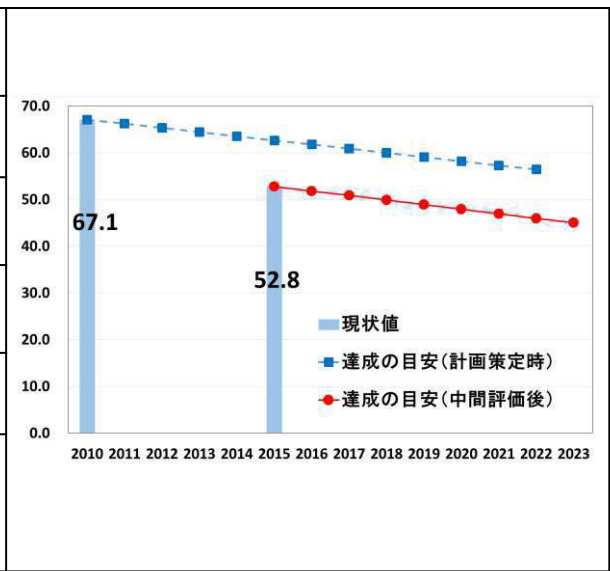
領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(1)がん		
目標項目	②がん検診の受診率の向上		
指標	40～69歳 女性の乳がん検診の受診率		
データソース	国立がん研究センターがん対策情報センター (厚生労働省「国民生活基礎調査」をもとに算定)		
分析・評価	現状値が基準値の39.3%から2.3ポイント増加の41.6%であり、目標値の50.0%以上に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討 2018年(平成30年)3月に策定された「第三期青森県がん対策推進計画」に準じて目標値の50.0%以上を維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		39.3%			43.6%			41.6%						
標本数		-			-			-		目標値維持					
達成の目安(計画策定時)		39.3%	40.8%	42.4%	43.9%	45.4%	46.9%	48.5%	50.0%以上						
達成の目安(中間評価後)								41.6%	42.8%	44.0%	45.2%	46.4%	47.6%	48.8%	50.0%以上

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	A
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	①脳血管疾患(注16)・虚血性心疾患(注17)の年齢調整死亡率の減少		
指標	男性の脳血管疾患(注16)の年齢調整死亡率(人口10万対)		
データソース	厚生労働省「人口動態統計特殊報告」		
分析・評価	現状値が基準値の67.1から14.3ポイント減少の52.8であり、目標値の56.4以下に達している。		



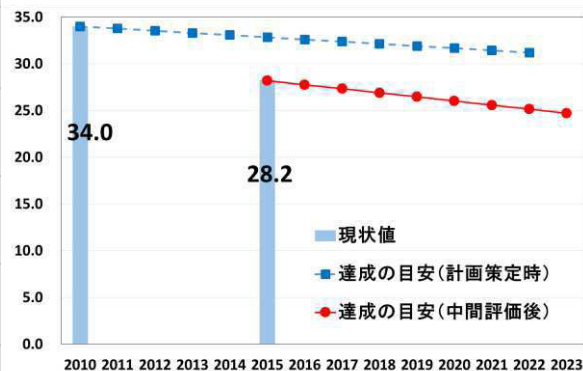
指標の見直しの検討  
 目標値に達しており、より高い目標設定が適当である。  
 新目標値は実現可能性を考慮し、現状値(52.8)と健康日本21(第二次)の目標値(41.6)の概ね中間値の45.0とする。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		67.1					52.8							
標本数		-					-								
達成の目安(計画策定時)		67.1	66.2	65.3	64.4	63.5	62.6	61.8	60.9	60.0	59.1	58.2	57.3	56.4	
達成の目安(中間評価後)							52.8	51.8	50.9	49.9	48.9	47.9	47.0	46.0	45.0

(注16) 脳血管疾患とは、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、その他の脳血管疾患をいう。

(注17) 虚血性疾患とは、急性心筋梗塞、その他の虚血性心疾患をいう。

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	A
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	①脳血管疾患(注16)・虚血性心疾患(注17)の年齢調整死亡率の減少		
指標	女性の脳血管疾患(注16)の年齢調整死亡率(人口10万対)		
データソース	厚生労働省「人口動態統計特殊報告」		
分析・評価	現状値が基準値の34.0から5.8ポイント減少の28.2であり、目標値の31.2以下に達している。		



指標の見直しの検討 目標値に達しており、より高い目標設定が適当である。新目標値は健康日本21(第二次)と同じ24.7とする

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	34.0					28.2									
	標本数	-					-									
	達成の目安(計画策定時)	34.0	33.8	33.5	33.3	33.1	32.8	32.6	32.4	32.1	31.9	31.7	31.4	31.2		
	達成の目安(中間評価後)						28.2	27.8	27.3	26.9	26.5	26.0	25.6	25.1	24.7	

(注16) 脳血管疾患とは、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、その他の脳血管疾患をいう。

(注17) 虚血性疾患とは、急性心筋梗塞、その他の虚血性心疾患をいう。

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	A
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	①脳血管疾患(注16)・虚血性心疾患(注17)の年齢調整死亡率の減少		
指標	男性の虚血性心疾患(注17)の年齢調整死亡率(人口10万対)		
データソース	厚生労働省「人口動態統計特殊報告」		
分析・評価	現状値が基準値の48.6から15.4ポイント減少の33.2であり、目標値の46.4以下に達している。		



指標の見直しの検討

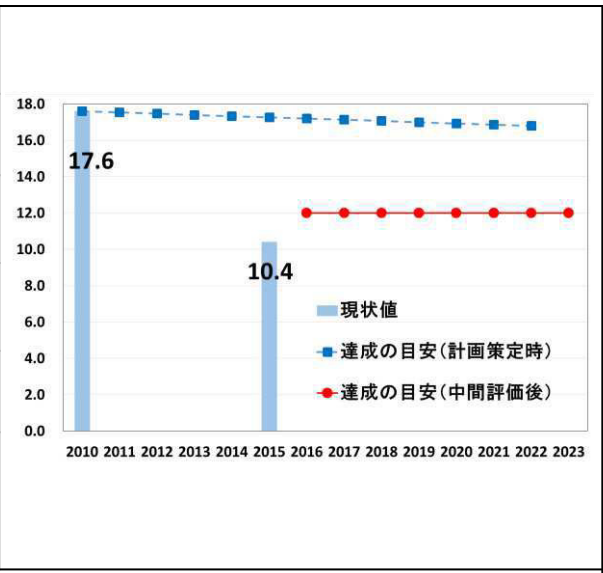
目標値に達しており、より高い目標設定が適当である。  
 新目標値は健康日本21(第二次)と同じ31.8とする。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	48.6					33.2									
	標本数	-					-									
	達成の目安 (計画策定時)	48.6	48.4	48.2	48.1	47.9	47.7	47.5	47.3	47.1	47.0	46.8	46.6	46.4		
	達成の目安 (中間評価後)						33.2	33.0	32.9	32.7	32.5	32.3	32.2	32.0		31.8

(注16) 脳血管疾患とは、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、その他の脳血管疾患をいう。

(注17) 虚血性疾患とは、急性心筋梗塞、その他の虚血性心疾患をいう。

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	A
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	①脳血管疾患(注16)・虚血性心疾患(注17)の年齢調整死亡率の減少		
指標	女性の虚血性心疾患(注17)の年齢調整死亡率(人口10万対)		
データソース	厚生労働省「人口動態統計特殊報告」		
分析・評価	現状値が基準値の17.6から7.2ポイント減少の10.4%であり、目標値の16.8以下に達している。		



指標の見直しの検討

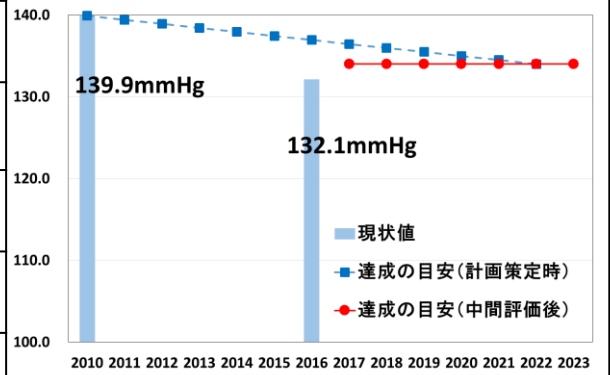
目標値に達しており、より高い目標設定が適当である。  
 新目標値は指標の変動可能性を踏まえて、現状値の10.4を上回る12.0とする。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	17.6					10.4									
	標本数	-					-									
	達成の目安(計画策定時)	17.6	17.5	17.5	17.4	17.3	17.3	17.2	17.1	17.1	17.0	16.9	16.9	16.8		
	達成の目安(中間評価後)								12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0

(注16) 脳血管疾患とは、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、その他の脳血管疾患をいう。

(注17) 虚血性疾患とは、急性心筋梗塞、その他の虚血性心疾患をいう。

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	A
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	②高血圧の改善(収縮期血圧(注18)の平均値の低下)		
指標	男性の収縮期血圧(注18)の平均値		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の139.9mmHgから7.8ポイント減少の132.1mmHgであり、目標値の134.0mmHg以下に達している。		

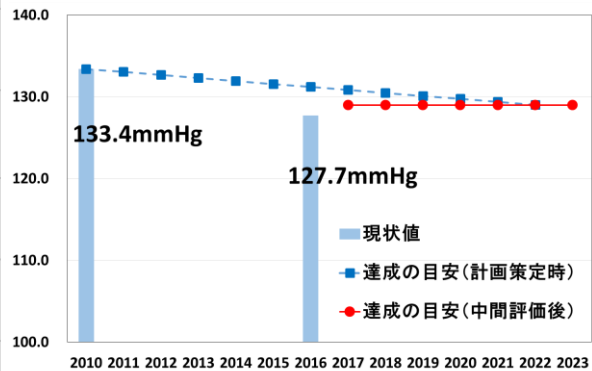


指標の見直しの検討  
 関連指標(LDLコレステロール値が160mg/dl以上の者の割合、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合、特定健康診査及び特定保健指導の実施率)の目標が達成できていないため、目標値の134.0mmHgを維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		139.9 mmHg						132.1 mmHg						
標本数		112						107	目標値維持						
達成の目安(計画策定時)		139.9 mmHg	139.4 mmHg	138.9 mmHg	138.4 mmHg	137.9 mmHg	137.4 mmHg	137.0 mmHg	136.5 mmHg	136.0 mmHg	135.5 mmHg	135.0 mmHg	134.5 mmHg	134.0 mmHg	
達成の目安(中間評価後)									134.0 mmHg	134.0 mmHg	134.0 mmHg	134.0 mmHg	134.0 mmHg	134.0 mmHg	134.0 mmHg

(注18) 収縮期血圧とは、心臓が収縮したときの血圧。血液が心臓から全身に送り出された状態で、血圧が最も高くなるため、最高血圧とも呼ばれる

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	A
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	②高血圧の改善(収縮期血圧(注18)の平均値の低下)		
指標	女性の収縮期血圧(注18)の平均値		
データソース	青森県県民健康・栄養調査		
分析・評価	現状値が基準値の133.4mmHgから5.7ポイント減少の127.7mmHgであり、目標値の129.0mmHg以下に達している。		



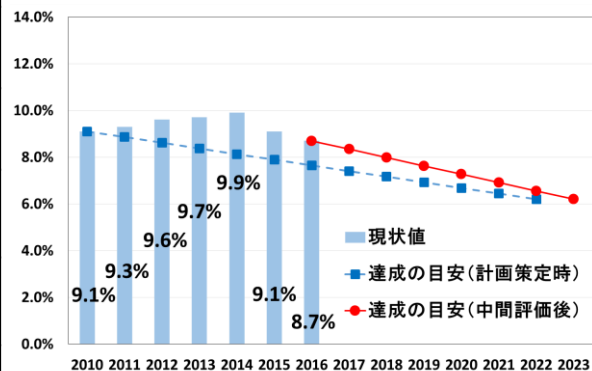
指標の見直しの検討  
 関連指標(LDLコレステロール値が160mg/dl以上の者の割合、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合、特定健康診査及び特定保健指導の実施率)の目標が達成できていないため、目標値の129.0mmHgを維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		133.4 mmHg						127.7 mmHg						
標本数		177						143	目標値維持						
達成の目安 (計画策定時)		133.4 mmHg	133.0 mmHg	132.7 mmHg	132.3 mmHg	131.9 mmHg	131.6 mmHg	131.2 mmHg	130.8 mmHg	130.5 mmHg	130.1 mmHg	129.7 mmHg	129.4 mmHg	129.0 mmHg	
達成の目安 (中間評価後)									129.0 mmHg	129.0 mmHg	129.0 mmHg	129.0 mmHg	129.0 mmHg	129.0 mmHg	129.0 mmHg

(注18) 収縮期血圧とは、心臓が収縮したときの血圧。血液が心臓から全身に送り出された状態で、血圧が最も高くなるため、最高血圧とも呼ばれる



領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	③脂質異常症の減少		
指標	男性のLDLコレステロール(注19)が $\geq 160\text{mg/dl}$ 以上の者の割合		
データソース	市町村国民健康保険健康診査データ(40~74歳)		
分析・評価	現状値が基準値の9.1%から0.4ポイント減少の8.7%であり、目標値の6.2%以下に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の6.2%を維持する。
-----------	----------------

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		9.1%	9.3%	9.6%	9.7%	9.9%	9.1%	8.7%						
標本数		36,120人中 3,299人	38,214人中 3,563人	38,957人中 3,739人	40,690人中 3,958人	42,494人中 4,210人	43,384人中 3,962人	42,671人中 3,720人	目標値維持						
達成の目安(計画策定時)		9.1%	8.9%	8.6%	8.4%	8.1%	7.9%	7.7%	7.4%	7.2%	6.9%	6.7%	6.4%	6.2%	
達成の目安(中間評価後)								8.7%	8.3%	8.0%	7.6%	7.3%	6.9%	6.6%	6.2%

<参考1>

県内医療保険者(市町村国保以外)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016 (H28)
40~74歳 男性のLDLコレステロール(注19)が $\geq 160\text{mg/dl}$ 以上の者の割合	13.7% (70,540人中9,660人)

<参考2>

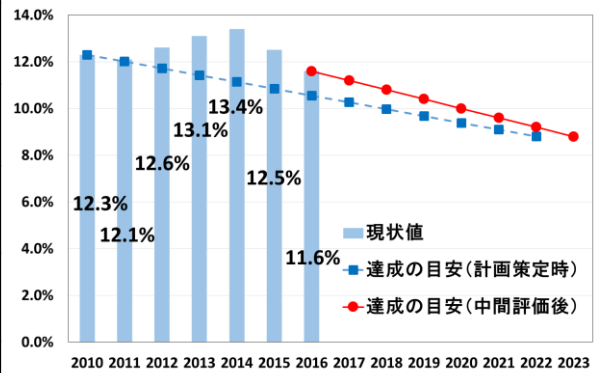
男性のHDLコレステロール(注20)が $< 40\text{mg/dl}$ 未満の者の割合(市町村国民健康保険健康診査データ)

年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)
割合	6.6%	5.8%	6.1%	6.4%	6.7%	6.9%	6.5%

(注19) LDLコレステロールとは、血液中に必要以上に取り込まれると蓄積されて内壁が肥厚し、動脈硬化を引き起こす原因となる、タンパク質の一種。悪玉コレステロールとよばれることがある。

(注20) HDLコレステロールとは、体内の余分なコレステロールを回収して肝臓へ運ぶ役割を担っている、タンパク質の一種。血管壁に沈着して蓄積したコレステロールを取り除いて動脈硬化を防ぐ働きをすることから善玉コレステロールとよばれることがある。

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	③脂質異常症の減少		
指標	女性のLDLコレステロール(注19)が $\geq 160\text{mg/dl}$ 以上の者の割合		
データソース	市町村国民健康保険健康診査データ(40~74歳)		
分析・評価	現状値が基準値の12.3%から0.7ポイント減少の11.6%であり、目標値の8.8%以下に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の8.8%を維持する。
-----------	----------------

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		12.3%	12.1%	12.6%	13.1%	13.4%	12.5%	11.6%						
標本数		51,465人中 6,322人	53,620人中 6,496人	54,069人中 6,829人	55,909人中 7,349人	57,792人中 7,761人	57,990人中 7,259人	56,454人中 6,569人	目標値維持						
達成の目安(計画策定時)		12.3%	12.0%	11.7%	11.4%	11.1%	10.8%	10.6%	10.3%	10.0%	9.7%	9.4%	9.1%	8.8%	
達成の目安(中間評価後)								11.6%	11.2%	10.8%	10.4%	10.0%	9.6%	9.2%	8.8%

<参考1>

県内医療保険者(市町村国保以外)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016 (H28)
40~74歳 女性のLDLコレステロール(注19)が $\geq 160\text{mg/dl}$ 以上の者の割合	12.5% (57,308人中7,186人)

<参考2>

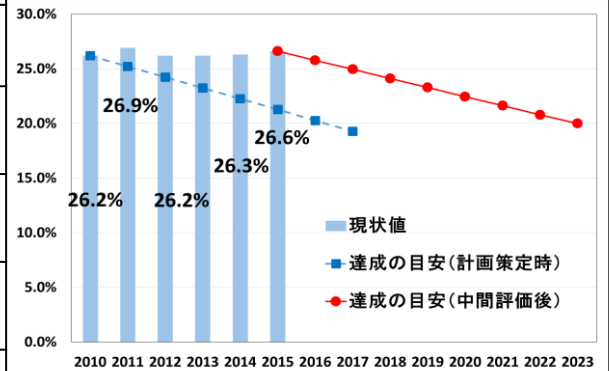
女性のHDLコレステロール(注20)が $< 40\text{mg/dl}$ 未満の者の割合(市町村国民健康保険健康診査データ)

年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)
割合	1.6%	1.3%	1.6%	1.5%	1.5%	1.5%	1.4%

(注19) LDLコレステロールとは、血液中に必要以上に取り込まれると蓄積されて内壁が肥厚し、動脈硬化を引き起こす原因となる、タンパク質の一種。悪玉コレステロールとよばれることがある。

(注20) HDLコレステロールとは、体内の余分なコレステロールを回収して肝臓へ運ぶ役割を担っている、タンパク質の一種。血管壁に沈着して蓄積したコレステロールを取り除いて動脈硬化を防ぐ働きをすることから善玉コレステロールとよばれることがある。

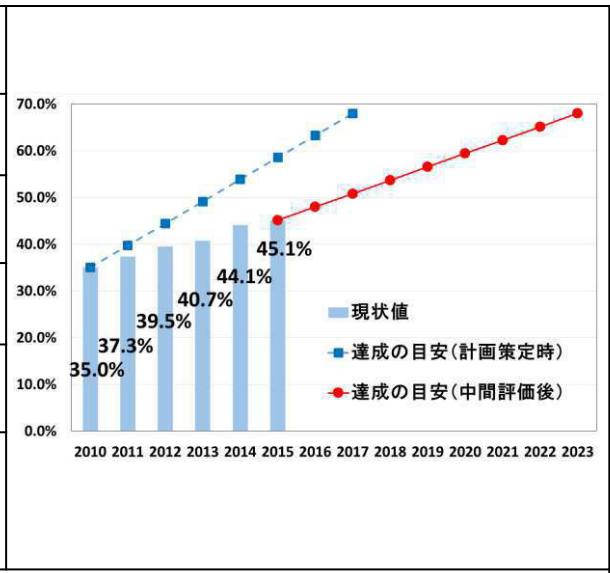
領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	D
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少		
指標	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合		
データソース	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」		
分析・評価	現状値が基準値の26.2%から0.4ポイント増加の26.6%であり悪化傾向である。		



指標の見直しの検討 最新の状況を反映させるため、新目標値を現状値(H27年度 26.6%)と比べて25%減少(26.6%×75%≒20.0%)の20.0%とする。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値		26.2%	26.9%	26.2%	26.2%	26.3%	26.6%								
標本数		210,789人中 59,233人	223,253人中 60,137人	232,539人中 61,010人	243,647人中 63,795人	264,603人中 69,703人	268,699人中 71,559人	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           旧目標値 H20年度(25.7%)と比べて25%減少            (∴25.7%×75%=19.275%)            →新目標値 20.0%         </div>								
達成の目安 (計画策定時)		26.2%	25.2%	24.2%	23.2%	22.2%	21.3%	20.3%	19.275%							
達成の目安 (中間評価後)							26.6%	25.8%	24.9%	24.1%	23.3%	22.4%	21.6%	20.8%	20.0%	

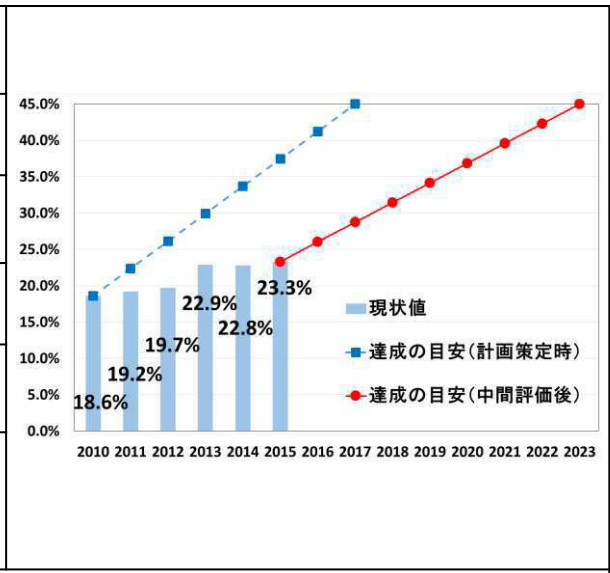
領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上		
指標	特定健康診査の実施率		
データソース	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」		
分析・評価	現状値が基準値の35.0%から10.1ポイント増加の45.1%であり、目標値の68.0%に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討 2018年(平成30年)3月に策定された「第三期医療費適正化計画」に準じて目標値の68.0%以上を維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値		35.0%	37.3%	39.5%	40.7%	44.1%	45.1%								
標本数		602,187人中 210,789人	598,904人中 223,253人	588,432人中 232,539人	598,837人中 243,647	599,566人中 264,603人	595,994人中 268,699人	目標値維持								
達成の目安(計画策定時)		35.0%	39.7%	44.4%	49.1%	53.9%	58.6%	63.3%	68.0%以上							
達成の目安(中間評価後)							45.1%	48.0%	50.8%	53.7%	56.6%	59.4%	62.3%	65.1%	68.0%以上	

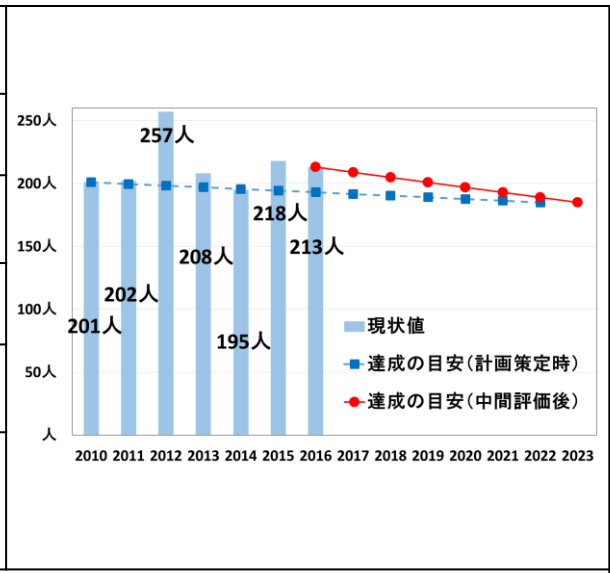
領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上		
指標	特定保健指導の実施率		
データソース	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」		
分析・評価	現状値が基準値の18.6%から4.7ポイント増加の23.3%であり、目標値の45.0%に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討 2018年(平成30年)3月に策定された「第三期医療費適正化計画」に準じて目標値の45.0%以上を維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	18.6%	19.2%	19.7%	22.9%	22.8%	23.3%									
	標本数	34,688人中 6,460人	37,595人中 7,237人	37,721人中 7,441人	38,293人中 8,783人	41,684人中 9,521人	41,796人中 9,726人	目標値維持								
	達成の目安(計画策定時)	18.6%	22.4%	26.1%	29.9%	33.7%	37.5%	41.2%	45.0%以上							
	達成の目安(中間評価後)						23.3%	26.0%	28.7%	31.4%	34.2%	36.9%	39.6%	42.3%	45.0%以上	

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	D
分野	(3)糖尿病		
目標項目	①合併症(糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数)の減少		
指標	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数		
データソース	日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」		
分析・評価	現状値が基準値の201人から12人増加の213人であり悪化傾向である。		

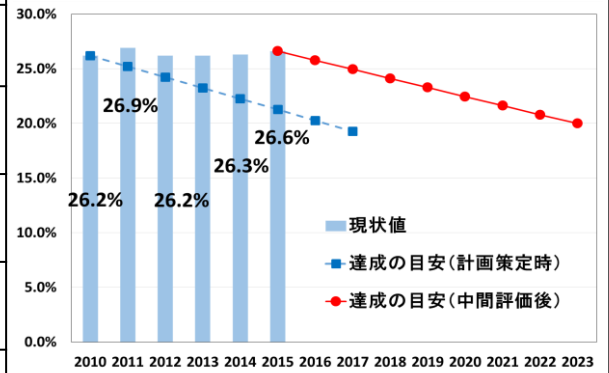


指標の見直しの検討

目標値の185人を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		201人	202人	257人	208人	195人	218人	213人						
標本数		—	—	—	—	—	—	—		目標値維持					
達成の目安(計画策定時)		201人	200人	198人	197人	196人	194人	193人	192人	190人	189人	188人	186人	185人	
達成の目安(中間評価後)								213人	209人	205人	201人	197人	193人	189人	185人

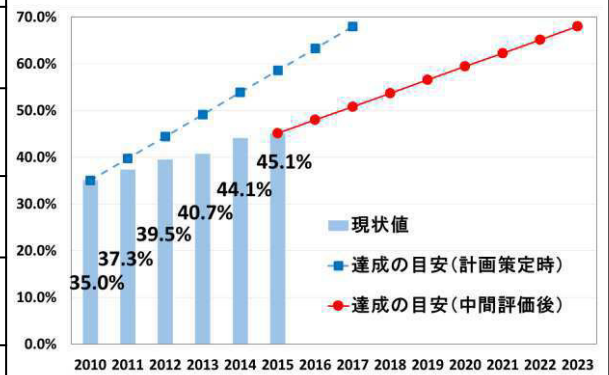
領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	D
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少【再掲】		
指標	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合【再掲】		
データソース	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」		
分析・評価	現状値が基準値の26.2%から0.4ポイント増加の26.6%であり悪化傾向である。		



指標の見直しの検討 最新の状況を反映させるため、新目標値を現状値(2015年度(平成27年度) 26.6%)と比べて25%減少(26.6%×75%≒20.0%)の20.0%とする。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値		26.2%	26.9%	26.2%	26.2%	26.3%	26.6%								
標本数		210,789人中 59,233人	223,253人中 60,137人	232,539人中 61,010人	243,647人中 63,795人	264,603人中 69,703人	268,699人中 71,559人	旧目標値 2017(H20)年度(25.7%)と比べて 25%減少(∴25.7%×75%=19.275%) →新目標値 20.0%								
達成の目安(計画策定時)		26.2%	25.2%	24.2%	23.2%	22.2%	21.3%	20.3%	19.275%							
達成の目安(中間評価後)							26.6%	25.8%	24.9%	24.1%	23.3%	22.4%	21.6%	20.8%	20.0%	

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上【再掲】		
指標	特定健康診査の実施率【再掲】		
データソース	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」		
分析・評価	現状値が基準値の35.0%から10.1ポイント増加の45.1%であり、目標値の68.0%に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討 2018年(平成30年)3月に策定された「第三期医療費適正化計画」に準じて目標値の68.0%以上を維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値	35.0%	37.3%	39.5%	40.7%	44.1%	45.1%									
	標本数	602,187人 中 210,789人	598,904人 中 223,253人	588,432人 中 232,539人	598,837人 中 243,647	599,566人 中 264,603人	595,994人 中 268,699人	目標値維持								
	達成の目安 (計画策定時)	35.0%	39.7%	44.4%	49.1%	53.9%	58.6%	63.3%	68.0% 以上							
	達成の目安 (中間評価後)						45.1%	48.0%	50.8%	53.7%	56.6%	59.4%	62.3%	65.1%	68.0% 以上	



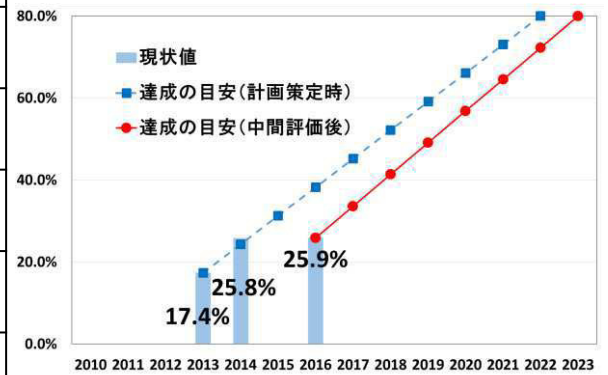
領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(2)循環器疾患		
目標項目	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上【再掲】		
指標	特定保健指導の実施率【再掲】		
データソース	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」		
分析・評価	現状値が基準値の18.6%から4.7ポイント増加の23.3%であり、目標値の45.0%に達していないものの改善傾向である。		



指標の見直しの検討 2018年(平成30年)3月に策定された「第三期医療費適正化計画」に準じて目標値の45.0%以上を維持する。

データ	年	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	
	現状値		18.6%	19.2%	19.7%	22.9%	22.8%	23.3%								
標本数		34,688人中 6,460人	37,595人中 7,237人	37,721人中 7,441人	38,293人中 8,783人	41,684人中 9,521人	41,796人中 9,726人	目標値維持								
達成の目安(計画策定時)		18.6%	22.4%	26.1%	29.9%	33.7%	37.5%	41.2%	45.0% I以上							
達成の目安(中間評価後)							23.3%	26.0%	28.7%	31.4%	34.2%	36.9%	39.6%	42.3%	45.0%以上	

領域	2 生活習慣病の発症予防と重症化予防	評価	B
分野	(4) COPD(慢性閉塞性肺疾患)		
目標項目	① COPDの認知度の向上		
指標	COPDの認知度		
データソース	青森県ウェブアンケート(注21)		
分析・評価	現状値が基準値の17.4%から8.5ポイント増加の25.9%であり、目標値の80.0%に達していないものの改善傾向である。		



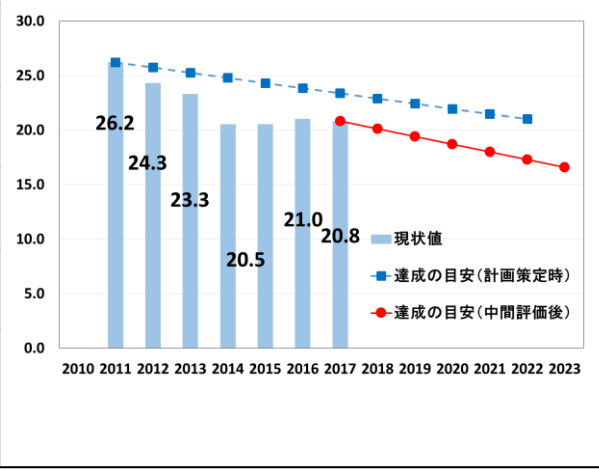
指標の見直しの検討

目標値の80.0%を維持する。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値				17.4%	25.8%		25.9%							
標本数				809人中 141人	407人中 105人		293人中 76人								
達成の目安 (計画策定時)				17.4%	24.4%	31.3%	38.3%	45.2%	52.2%	59.1%	66.1%	73.0%	80.0%		
達成の目安 (中間評価後)							25.9%	33.6%	41.4%	49.1%	56.8%	64.5%	72.3%	80.0%	

(注21) 「青森県ウェブアンケート(あおもリサーチ)」は、2018年(平成30年)3月31日をもってサイトでの運営を終え、2018年(平成30年)4月以降は「青森県電子申請・届出システム」のアンケート機能を活用し、随時アンケートを行うこととしている。

領域	3 こころの健康	評価	A
分野	(1)こころの健康づくり		
目標項目	①自殺者の減少		
指標	自殺死亡率(人口10万対)		
データソース	厚生労働省「人口動態統計」		
分析・評価	現状値が基準値の26.2から5.4ポイント減少の20.8であり、目標値の21.0以下に達している。		

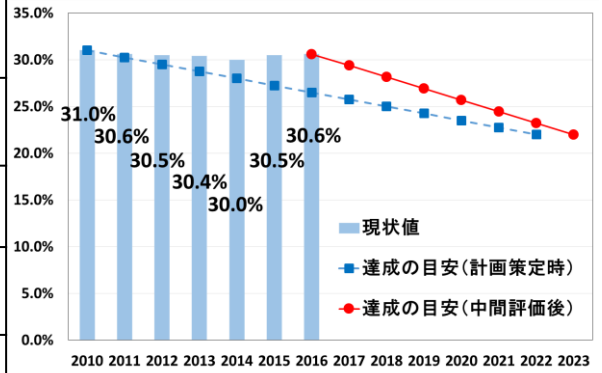


指標の見直しの検討  
 目標値に達しており、より高い目標設定が適当である。  
 新目標値は、2018年(平成30年)3月に策定された「いのち支える青森県自殺対策計画」に準じて16.6とする。

データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値			26.2	24.3	23.3	20.5	20.5	21.0	20.8					
標本数			-	-	-	-	-	-	-						
達成の目安(計画策定時)			26.2	25.7	25.3	24.8	24.3	23.8	23.4	22.9	22.4	21.9	21.5	21.0	
達成の目安(中間評価後)									20.8	20.1	19.4	18.7	18.0	17.3	16.6

旧目標値 21.0  
 ↓  
 新目標値 16.6

領域	3 こころの健康	評価	C
分野	(2) 休養(睡眠)		
目標項目	①睡眠による休養が十分にとれていない者の割合の減少		
指標	睡眠で休養が十分にとれていない者の割合		
データソース	市町村国民健康保険健康診査データ(40～74歳)		
分析・評価	現状値が基準値の31.0%から0.4ポイント減少の30.6%であり、目標値の22.0%に達しておらず横ばい傾向である。		



指標の見直しの検討	目標値の22.0%を維持する。
-----------	-----------------

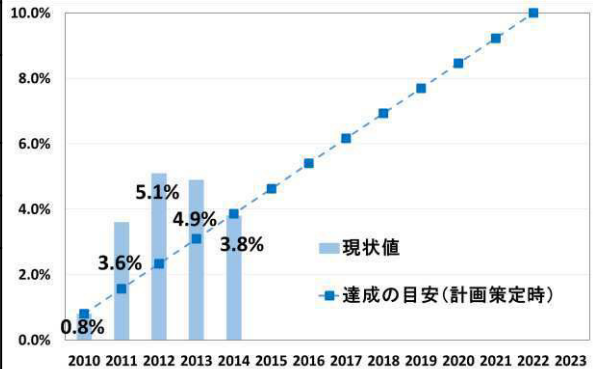
データ	年度	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値		31.0%	30.6%	30.5%	30.4%	30.0%	30.5%	30.6%						
標本数		79,663人中 24,707人中	83,027人中 25,433人中	83,611人中 25,490人中	86,346人中 26,282人中	89,468人中 26,874人中	89,473人中 27,266人中	87,460人中 26,791人中	目標値維持						
達成の目安(計画策定時)		31.0%	30.3%	29.5%	28.8%	28.0%	27.3%	26.5%	25.8%	25.0%	24.3%	23.5%	22.8%	22.0%	
達成の目安(中間評価後)								30.6%	29.4%	28.1%	26.9%	25.7%	24.5%	23.2%	22.0%

<参考>

県内医療保険者(市町村国保以外)の特定健康診査の問診票データの集約結果

	2016(H28)
40～74歳 男女総計の睡眠で休養が十分にとれていない者の割合	39.3% (88,077人中34,590人)

領域	3 こころの健康	評価	E
分野	(3) 認知症		
目標項目	① 認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上		
指標	認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率		
データソース	厚生労働省「介護予防事業報告」		
分析・評価	現状値が基準値の0.8%から3.0ポイント増加の3.8%であり、目標値の10.0%に達していないもの改善傾向である。しかしながら、2015(H27)年度の介護保険制度の改正以降、指標の把握が不可能であり評価困難である。		



**指標の見直しの検討**

指標の把握が不可能であり評価困難であるため、新しい指標の設定が適当である。健康日本21(第二次)の中間評価では、H27年度の介護保険制度改正により、現在、基本チェックリストを使用した介護予防事業は実施していないため、「認知症機能低下ハイリスク高齢者の把握率」の把握が困難となっていることから、新オレンジプラン(認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～)において数値目標として掲げられている「認知症サポーター数」を新たな指標とした。これを受けて、「認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率」の指標は廃止し、新指標は、2018年(平成30年)3月に策定された「あおり高齢者すこやか自立プラン2018」で達成目標として定められた「認知症サポーター(注22)及びキャラバン・メイト(注23)数」とする。

目標値は「あおり高齢者すこやか自立プラン2018」に準じて120,000人とし、目標年次も同プランの期間に合わせて2020年度とする。

データ	年度	2010(H22)	2011(H23)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021	2022	2023
	現状値	0.8%	3.6%	5.1%	4.9%	3.8%									
標本数	-	-	-	-	-										
達成の目安(計画策定時)	0.8%	1.6%	2.3%	3.1%	3.9%	4.6%	5.4%	6.2%	6.9%	7.7%	8.5%	9.2%	10.0%		

○新目標項目 認知症サポーター及びキャラバン・メイト数の増加

○新指標 認知症サポーター及びキャラバン・メイト数

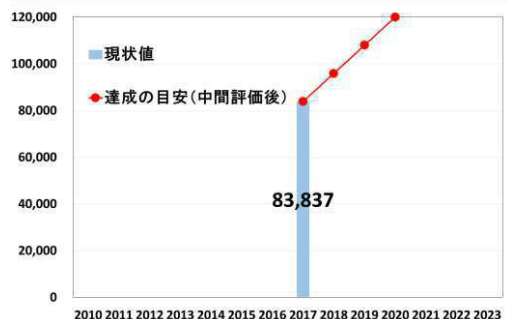
○新目標値 120,000人

<参考>

認知症サポーター数及びキャラバン・メイト数 (出典:あおり高齢者すこやか自立プラン2018)

2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020
83,837人	95,891人	107,945人	120,000人

達成の目安



(注22) 「認知症サポーター」は、自治体事務局等が行う「認知症サポーター養成講座」を受けた人のことである。

(注23) 「キャラバン・メイト」は、自治体事務局等と「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務めていただく人のことである。キャラバン・メイトになるためには所定のキャラバン・メイト養成研修を受講し登録する必要がある。